

平成 21 年度

事業報告書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

平成 21 年度事業報告

目 次

一	平成 21 年度事業報告	1
二	事業経営	6
1	保育支援系施設の経営	6
2	高齢者支援系施設の経営	17
3	障害者支援系施設の経営	38
4	児童・女性支援系施設の経営	53
5	医療事業施設の経営	62
6	収益事業の経営	64
三	職員福利厚生制度	65
四	理事会及び評議員会	66
五	施設長会議及び各種委員会	70
六	事務局主要業務	82

平成 22 年 5 月 26 日

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会
理事長 牧 野 洋 一

一 平成 21 年度事業報告

平成 21 年度は昨年度に引き続き日本経済が低迷し、国及び地方の財政悪化や失業率の増大などが国民生活に暗い影を投げかけました。また、新型インフルエンザの発生に対応した年でもありました。

福祉の分野では、依然として人手不足が解消されず、その対策として介護職員・障害者支援職員に処遇改善交付金が支給されました。

当法人においては、利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保・育成に努めました。

まず施設運営についてですが、利用者の個別計画に基づいた適切なサービスを提供することにより、第三者評価においても利用者満足度の高い評価を得ることができました。また、双葉園のグループホーム高嶋の家や障害者グループホーム 2 カ所を開設し、東村山生活実習所の改築工事が終了しました。サンライズ世田谷については廃止となりました。

次に人材についてですが、計画的な採用を進めるとともに、法人研修の充実に加え、各支援系グループにおいて新人研修や専門別研修を計画的に実施いたしました。また、新たにキャリアパスを明示し、職員のモラルアップに繋げました。

最後に昭島病院の運営については、DPC 病院として運営を開始し、入院・外来ともに収益の改善に取り組むとともに、医療材料等のコスト削減に努めた結果、今年度も黒字決算となりました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心から感謝いたします。

平成21年度 施設利用状況報告

平成22年3月31日現在

グループ名	種別	施設名	利用状況							備考
			定員	(3月利用者数)	1日利用者平均	年間利用者数	年間実施延日数	(20年度)利用率	(21年度)利用率	
保育支援系	保育所	むさしの保育園	154	155	155.7	45,629	293	96.8%	101.1%	
		本園	125	126	126.8	37,155	293	95.9%	101.4%	
			方南分園	29	29	28.9	8,474	293	100.8%	99.7%
		昭和郷保育園	100	121	117.5	34,423	293	118.7%	117.5%	
		大山保育園	122	123	123.0	36,028	293	102.1%	100.8%	
		昭和郷第二保育園	174	185	185.5	54,346	293	105.1%	106.6%	
		本園	153	163	167.7	49,133	293	109.2%	109.6%	
			分園	21	22	17.8	5,213	293	75.3%	84.7%
		みなと保育園	70	71	72.1	21,129	293	101.3%	103.0%	
		同援みどり保育園	125	130	130.4	38,220	293	104.0%	104.4%	
		つつじが丘保育園	110	131	126.7	37,124	293	109.5%	115.2%	
		同援さくら保育園	108	118	118.0	34,577	293	99.4%	109.3%	
		小計		963	1034	1,029	301,476	293	104.6%	107.2%
高齢者支援系	養護老人ホーム	万世敬老園	200	200	200.3	73,092	365	100.2%	100.1%	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	49.8	18,194	365	100.0%	100.0%	
		ライトホーム	50	41	42.1	15,362	365	87.7%	84.2%	
	小計		300	291	292.2	106,648	365	96.0%	94.8%	
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	98	100.6	36,732	365	96.4%	96.8%	
		ニューフジホーム	104	99	97.5	35,577	365	93.4%	93.7%	
		原町ホーム	52	47	51.2	18,705	365	99.4%	98.6%	
		ゆたか苑	54	50	51.6	18,837	365	96.9%	95.6%	
		ひかり苑	54	51	52.2	19,063	365	97.5%	96.7%	
	小計		368	345	353.2	128,914	365	96.7%	96.3%	
	認知症対応型老人 共同生活介護	かえで	9	9	8.6	3,135	365	99.4%	95.4%	
	老人デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	—	19.7	6,075	308	71.5%	78.9%	
		フジ・デイホーム	10	—	7.2	2,209	308	77.7%	71.7%	
原町高齢者 在宅サービスセンター		15	—	13.6	4,199	308	80.7%	90.9%		
東大和市ふれあい デイセンターひかり苑		12	—	10.0	3,094	308	80.3%	83.7%		
地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者 総合相談センター	—	—	—	3044件	293	—	—		
居宅介護支援事業所	フジホーム	—	—	4.2	1,009	242	—	—		
	原町ホーム	—	—	2.9	840	293	—	—		
	ゆたか苑	—	—	2.7	652	242	—	—		
	ひかり苑	—	—	1.3	305	242	—	—		

グループ名	種別	施設名	利用状況						備考	
			定員	(3月利用者数)	利用者平均	年間利用者数	年間実施延日数	(20年度)年間利用率		(21年度)年間利用率
障害者支援系	知的障害者更生施設	さやま園(入所)	100	100	100.1	36,549	365	101.7%	100.1%	
		小茂根福祉園(通所)	30	32	30.9	7,474	242	81.1%	102.9%	
		東村山生活実習所(通所)	27	32	25.2	6,109	242	90.7%	93.5%	
	知的障害者授産施設	小茂根福祉園(通所)	30	29	24.1	5,825	242	70.4%	80.2%	
		立川福祉作業所(通所)	75	74	67.4	18,136	269	89.7%	89.9%	
	知的障害者短期保護事業	さやま園	5	6	2.8	1,031	365	69.3%	56.5%	
	救護施設	昭島荘	100	100	101.2	36,947	365	101.3%	101.2%	
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	—	—	7.1	2,591	365	—	—	
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	—	—	25.2	9,214	365	—	—	
	共同生活介護・共同生活援助事業	アミニティ富士見	6	5	5.6	2,039	365	100.0%	93.1%	
		グリーンハイツ	6	6	6.0	2,190	365	95.3%	100.0%	
		フレンズ・モエ	4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	
		パル	6	6	5.8	2,129	365	97.2%	100.0%	
		それいゆ小川	6	6	6.0	1,644	274	—	100.0%	7月1日開所
レジオンス巣鴨		4	4	3.8	1,400	365	95.3%	95.9%		
はなみずき		4	4	3.9	1,438	365	99.1%	98.5%		
ユーカリ		4	3	3.4	1,259	365	95.9%	86.2%		
夢オハナ	6	6	6.0	1,643	274	—	100.0%	7月1日開所		
小計		413	417	429	139,078	365	—	—		
児童・女性支援系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	20	17	17.4	6,335	365	89.5%	86.8%	
		サンライズ青山	20	20	19.8	7,210	365	98.1%	98.8%	
		港区緊急一時保護	1	1	0.9	335	365	58.9%	98.1%	
		サンライズ万世	20	20	19.2	7,013	365	98.8%	96.1%	
		子育て短期支援	2	1	0.4	156	365	23.3%	21.4%	
		サンライズ山中	20	16	15.7	5,721	365	75.5%	78.4%	
	児童養護施設(地域小規模)	双葉園	40	45	41.7	15,209	365	94.5%	90.6%	
		高鳴の家	6							
婦人保護施設	いこいの家	40	34	32.3	11,806	365	58.7%	80.9%		
小計		169	154	147	53,785	365	72.9%	81.3%		
医療	病院	昭島病院	199	710	789.0	—	365	—	—	
		入院	199	176	170.0	—	365	87.9%	85.2%	
		外来	—	534	619.0	—	281	—	—	
		訪問看護ステーション	—	63	11.6	721	261	—	—	
収益	印刷	事業局	—	—	—	—	—	—	—	
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	
合計(福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業21)		2,483	3,023	3,121	752,140	365	—	—		

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

平成21年度 職員配置状況報告(職員実人員数)

グループ名	種別	施設名	平成21年3月31日				職員数合計	20年度 (年間勤換平均)	平成22年3月31日				職員数合計	21年度 (年間勤換平均)	備考
			正規職員	臨時職員					正規職員	臨時職員					
				契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B			
保育支援系	保育所	むさしの保育園	26	10	0	27	63	49.5	30	11	0	25	66	54.2	
		昭和郷保育園	15	5	0	15	35	25.9	19	4	1	14	38	28.3	調理委託
		大山保育園	15	9	6	8	38	33.3	20	3	8	6	37	33.9	
		昭和郷第二保育園	22	11	0	16	49	40.7	28	6	0	13	47	40.6	調理委託
		みなと保育園	9	7	1	8	25	22.1	13	6	0	10	29	25.0	
		同援みどり保育園	19	6	2	18	45	37.5	19	6	3	19	47	38.8	H21派遣1
		つつじが丘保育園	21	5	0	22	48	36.1	22	5	0	20	47	37.3	
		同援さくら保育園	17	4	0	23	44	31.4	21	4	0	23	48	34.8	調理委託
小計			144	57	9	137	347	276.5	172	45	12	130	359	292.9	
高齢者支援系	養護老人ホーム	万世敬老園	24	10	0	8	42	36.9	22	10	6	12	50	42.8	調理委託
	軽費老人ホーム	サンホーム	10	4	0	6	20	15.1	10	3	2	8	23	16.0	
		ライトホーム	1	2	0	0	3	3.0	1	2	0	0	3	3.0	
	特別養護老人ホーム	フジホーム	26	17	1	20	64	53.8	28	18	0	24	70	56.9	調理委託
		ニューフジホーム	30	11	1	26	68	57.7	35	10	0	29	74	61.5	調理委託
		原町ホーム	18	7	6	8	39	32.3	17	7	8	6	38	34.2	調理委託
		ゆたか苑	20	10	0	7	37	31.2	20	10	2	7	39	33.1	調理委託
		ひかり苑	20	10	0	7	37	33.3	20	17	0	7	44	38.3	
	認知症対応型老人 共同生活介護	かえで	1	5	0	3	9	8.2	2	5	0	3	10	9.0	
	老人デイサービスセンター	フジ・デイサービスセンター	3	1	6	4	14	12.3	3	1	5	5	14	12.0	
		フジ・デイホーム	1	1	6	0	8	7.8	1	0	6	0	7	6.3	
		原町高齢者 在宅サービスセンター	1	5	3	4	13	12.8	1	3	3	8	15	11.9	
		東大和市ふれあい デイセンターひかり苑	2	3	0	3	8	6.4	2	3	0	1	6	5.9	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者 総合相談センター	4	0	0	0	4	4.0	5	0	0	0	5	5.0	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	1	0	1	0	2	2.0	1	1	0	1	3	2.3	
		原町ホーム	2	0	0	1	3	2.6	1	1	0	1	3	2.6	
ゆたか苑		2	0	0	0	2	2.0	3	0	0	0	3	2.8		
ひかり苑		1	0	0	0	1	1.0	1	0	0	0	1	1.0		
小計			167	86	24	97	374	322.4	173	91	32	112	408	344.6	

グループ名	種別	施設名	平成21年3月31日					(年間平均) 常勤換算	平成22年3月31日					(年間平均) 常勤換算	備考
			正規職員	臨時職員			職員数合計		正規職員	臨時職員			職員数合計		
				契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B			
障害者支援系	知的障害者更生施設	さやま園(入所)	31	18	0	13	62	53.6	31	15	0	20	66	57.8	
		小茂根福祉園(通所)	18	6	0	0	24	24.0	17	6	0	0	23	23.8	
		東村山生活実習所(通所)	9	1	0	10	20	15.6	10	2	0	12	24	16.8	
	知的障害者授産施設	小茂根福祉園(通所)	8	1	0	1	10	9.6	8	0	0	2	10	9.5	
		立川福祉作業所(通所)	11	1	0	16	28	18.0	12	1	0	15	28	19.8	調理委託
	知的障害者短期保護事業	さやま園	—	—	—	—	0	—	—	—	—	0	—		
	救護施設	昭島荘	33	5	0	4	42	40.2	34	4	0	4	42	40.2	調理委託
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	7	4	0	8	19	15.4	9	2	0	7	18	14.7	調理委託
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	16	2	0	15	33	26.2	16	1	0	18	35	25.6	
	共同生活介護・共同生活援助事業	アミニティ富士見	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		グリーンハイツ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		フレンズ・モエ	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
		パル	—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	
それいゆ小川		—	—	—	—	0	—	—	(2)	—	—	0	—	7月1日開所	
レジオンス巣鴨		—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—		
はなみずき		—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—		
ユーカリ		—	(1)	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—		
夢オハナ	—	—	—	—	0	—	—	(1)	—	—	0	—	7月1日開所		
小計		133	38	0	67	238	202.6	137	31	0	78	246	208.2		
児童・女性支援系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	6	2	0	4	12	10.0	5	2	0	5	12	9.5	
		サンライズ青山	6	3	1	3	13	10.1	5	3	0	3	11	8.9	
		サンライズ万世	6	3	0	5	14	10.5	6	3	0	5	14	10.7	
		サンライズ山中	6	1	0	2	9	8.1	6	2	0	1	9	8.1	
	児童養護施設 (地域小規模)	双葉園	20	6	0	8	34	29.5	23	3	0	9	35	32.8	
		高嶋の家	—	—	—	—	—		4	0	0	0	4		
	婦人保護施設	いこいの家	8	3	0	3	14	12.0	9	2	0	4	15	12.6	調理委託
小計		52	18	1	25	96	80.2	58	15	0	27	100	82.6		
医療	病院	昭島病院	197	0	0	121	318	253.4	201	0	0	142	343	261.6	
		訪問看護ステーション	3	0	0	2	5		4	0	0	3	7		
収益	印刷	事業局	15	1	0	0	16	15.1	14	0	0	0	14	14.0	
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計			711	200	34	449	1394	1,150.2	759	182	44	492	1477	1,203.9	

注1 嘱託医等の業務委託や派遣職員は算入していない。

注2 共同生活介護・共同生活援助事業の職員配置は、委託事業のため職員数および常勤換算には含まない。

注3 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員。

なお、昭島病院(訪問看護ステーション含)では正規職員の所定時間は1日7時間42分(週40時間)となっており、非常勤で1日の労働時間が最長でも7時間30分であるため、非常勤職員全員が非常勤Bに該当する。

二 事業経営

定款の定める本法人事業目的達成のため、次の施設を経営しました。

1 保育支援系施設の経営

保育所を経営しました。

【グループ総括】

- 1 経済危機下の状況において雇用環境は悪化、経済的不安も増す中で待機児も更に増加し解消に向け保育グループでは弾力入所受け入れを積極的に行いました。
- 2 保護者の子育て環境による育児不安、育児力低下等により、児童虐待の件数も大きく増加しています。私達は保育所の果たす役割を再認識し持っている力を十分発揮しながら、育児力向上に向けて保護者の支援を致しました。
- 3 近隣との関係が希薄化している中での子育て力の低下に向け、情報提供や場所の提供に努め、さらに必要に応じて専門機関との連携、協働を推進しました。
- 4 8園が第三者評価を受審し、保護者・職員からの意見を十分受け止め、多様な保育サービスの改善充実に繋げました。
- 5 新人チューター制度を導入し、合わせて中堅チューター制度導入に向けてのマニュアル作成や職員育成計画に向けての取り組みを行いました。
- 6 職員の資質向上に向け、法人研修・各保育団体の研修・市区の研修・園内研修や自己研鑽等に努め、合わせて人事考課制度の定着により人材育成につなげました。
- 7 東京都社会福祉施設サービス推進費補助が本則適用となり、収入は減額傾向にありましたが、特別保育事業に積極的に取り組み収入の安定を図りました。

保育所

日々保護者の委託を受けて、保育にかける乳児または幼児を保育しました。

ア	むさしの保育園	定員 125 名	
	むさしの保育園方南分園	定員 29 名	計 154 名

稼働率 101.1%（本園 101.4%、方南分園 99.7%）

【施設運営状況】

- 1 待機児解消に向け、区との協議を図りながら乳児の弾力入所を受け、さらに経営の安定に努めました。
- 2 地域の子育て拠点として、保育園の役割を充分発揮し、体験保育・出前保育等の事業を展開しました。
- 3 育児困難家庭、気になる子が増える中、地域の専門機関との連携を密に図りながら、問題解消に取り組みました。
- 4 第三者評価受審、苦情対応を通して、保育内容の見直しを図りながら、サービスの改善・充実に努めました。
- 5 職員育成に向け、チューター制度を導入することで、自己を見直し職員同士が理解し合いながら、次のステップに繋げることができました。

【利用者支援状況】

- 1 一人ひとりの子ども達の発達状況、家庭状況を考慮しながら、年齢に合わせた環境整備を行い保育を実施しました。
- 2 遊び、生活を通して子ども相互の関係づくりを強化しながら、その中で育ち合う喜びを共有できるよう、保育の充実に努めました。
- 3 集団生活が難しい子ども達については、職員を加配し子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもを受入れ対応しました。
- 4 保護者の就労状況による延長保育、特にスポット利用が多く定員を越えての保育対応に、職員体制を整え取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
給食ソフト	400	給食ソフト	181
パソコン4台	900	パソコン(ソフト対応)	164
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
スチームコンベクション	2152	空調機器	252
		パソコン	158
		網戸ハウジング加工工事	347
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
エアコン2台	420	空気清浄機2台	276
エアコン設置工事	324	スチームコンベクション	1911
		コピー機	987
		パソコン2台、プロジェクター	545
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
コピー機	1365	パソコン2台	360
		つり戸棚取付工事	179
		改築基本設計	952

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	92	92	90	89	89	89	91	91	91	91	91	91	1087
女児	66	66	66	65	65	64	64	64	65	66	66	64	781
合計	158	158	156	154	154	153	155	155	156	157	157	155	1868

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	20	28	34	27	19	23	151
平成20年度	22	28	34	25	24	18	151
平成21年度	22	29	34	24	23	23	155

イ 昭和郷保育園

定員 100 名

稼働率 117.5%

【施設運営状況】

- 1 雇用環境の悪化に伴い、入所希望も多く弾力入所受入れを積極的に行い3月は過去最高の121%受入れを行いました。
- 2 新規事業病後児保育室「くろーばー」開設に向けて準備を進めました。また、食育推進に向けて自園で給食調理するため業務委託の準備も行いました。
- 3 第三者評価を受審し、保護者・職員からの意見を十分受け止め保育サービスの改善に繋げました。
- 4 地域活動を積極的に行い、たくさんの人との出会い、ふれあいによって子育て支援拠点としての役割を果たしました。
- 5 新人チューター制度の実施と中堅チューター制度に向けての検討・準備をし職員育成計画につなげました。

【利用者支援状況】

- 1 子どもの主体性を尊重し、様々な実体験（生命の大切さ、食育等）を通して保育の向上を目指し、子どもの生きる力が育つように努めました。
- 2 保護者の状況やその意向を理解し、家庭及び園生活に充実と家庭との連携を念頭に置き、個人面談等の充実を図りました。
- 3 一人ひとりの発達過程を捉え子どもの気持ちに寄り添いながら、自分の思いを表現できる環境づくりに努めました。
- 4 ボランティアの積極的受入れや、地域の方々特に世代間交流などを通して、人を思いやるやさしさや、豊かな心が育まれました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
0・1歳児保育室床コーティング塗装	800	0・1歳児保育室床コーティング塗装	496
乳児遊具	350	2歳児保育室床コーティング塗装	290
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
園庭芝	900		
遊具屋根	700		
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
パソコン2台	450	園庭芝生化工事	4022
遊具塗装	580	パソコン	161
		栄養ソフト	117
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
陶芸釜修理	220	除菌洗浄水生成器	250
栄養ソフト	400	AED（自動体外式除細動器）	350
		病後児保育室、調理室改修工事	6061
		食器戸棚他	1153

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	66	66	67	64	66	68	70	71	72	73	73	74	830
女児	45	48	48	48	48	47	47	47	47	47	47	47	566
合計	111	114	115	112	114	115	117	118	119	120	120	121	1396

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	13	16	21	24	24	21	119
平成20年度	11	18	20	24	25	22	120
平成21年度	13	16	23	22	22	25	121

ウ 大山保育園 定員 122 名

稼働率 100.8%

【施設運営状況】

- 1 入所状況として定員プラス2名弾力受け入れをしているが、途中退園が幼児のため入らず定員割れは、ないものの稼働率100.8%と前年度より1.3%減になってしまった。
- 2 建物構造上新規事業ができないため、できる範囲で地域の親子のために子育てサロンを始め看護師・栄養士・保育士による子育て相談を行い積極的に進め収入の安定を図りました。
- 3 第三者評価を受審し保護者・職員の意見を受けとめ保育サービスの充実・改善に繋がりました。
- 4 子どもが地域の高齢者施設訪問の他に高齢者が保育園にきて、折り紙教室や読み聞かせの交流をはかる。また公園に行き出前保育も積極的に進めました。
- 5 新入職員のチューター制の導入・法人研修・区の研修・園内外研修を進め自己研鑽し人事考課制度の定着により人材育成に繋がりました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの成長に合わせ「たくましく生きる力」を育てることを意識して家庭と保育園とで連携をとりながら保育の充実を図りました。
- 2 保護者・地域の親子が、楽しく参加できる工夫（育児講座・体験保育・子育てサロン）して子育て力の低下に向けて保育所の役割を果たしました。
- 3 乳児の2時間延長が増加する中クラス保育ができるように配慮し、職員間の連携を図り保護者対応の統一をして子どもが安心・安全に過ごせるよう環境整備をしました。
- 4 ボランティアは大学のボランティア部に声をかけ行事の手伝いをお願いしている。毎回10名ほどの参加があり、学生と子どもの交流ができる。夏休みの期間には中学生のボランティアも受け入れ乳幼児の理解に繋がりました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
ホールドア工事	800		
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	

門扉工事	514	AED（自動体外式除細動器）	390
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
3～5歳児床工事	800	栄養ソフト	150
		電解水ナトリウムウォーター	230
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
2階乳児室塗装工事	100	両面プリンター	170
		耐震診断	1116

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	71	71	71	71	71	71	71	71	70	71	71	70	850
女児	53	53	53	52	52	52	52	52	52	52	52	52	627
合計	124	124	124	123	123	123	123	123	122	123	123	122	1477

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	12	20	24	24	24	21	125
平成20年度	12	20	21	24	23	25	125
平成21年度	12	20	21	24	23	22	122

工 昭和郷第二保育園 定員 153名
 昭和郷第二保育園分園 定員 21名 計 174名

稼働率 106.6%（本園 109.6%、分園 84.7%）

【施設運営状況】

- 1 保育指針改定に伴い、保育園の役割を更に発揮し、柔軟な対応と機能の充実がはかれました。
- 2 需要に応じての入所は、柔軟に対応でき受け入れることができました。年度後半は引越しが目立ち減少がみられました。
- 3 地域の子育て支援のため、園行事等の参加や情報の提供が出来ました。
- 4 第三者評価をうけ、前回よりも利用者満足がすべての項目において高くなっており、サービスの向上に繋がりました。
- 5 園内外研修等により、職員の資質向上と育成に繋がりました。

【利用者支援状況】

- 1 一人ひとりの発達を捉え、健康で安全なきめ細かい保育が出来ました。
- 2 食育活動により、食に関する興味を持ち食事を楽しむことが出来ました。
- 3 保健活動で健康や自分の体に興味、関心を持つことが出来ました。
- 4 個別活動、行事参加、異年齢児交流等様々な体験により保育内容の充実が図れました。
- 5 園生活の中で思いやりの心、真剣に取り組む力などたくましく生きる力が育ちました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	

楽器戸棚取付	600	楽器戸棚取付	468
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
収納ベッド横型	220		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
樹木の剪定	650	室内滑り台	650
		大型遊具リメイク、木製遊具修繕	1457
		耐震診断	2520

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	90	92	94	96	95	95	95	96	96	95	95	93	1132
女児	84	87	90	92	96	96	95	93	93	92	92	92	1102
合計	174	179	184	188	191	191	190	189	189	187	187	185	2234

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	21	26	35	36	32	35	185
平成20年度	21	31	35	35	35	31	188
平成21年度	22	27	35	35	33	33	185

オ みなと保育園 定員 70名

稼働率 103.0%

【施設運営状況】

- 1 入所状況は、4月~1月まで2名増、2月~3月は1名増の弾力化を行い、年間を通して稼働率も安定した運営ができました。
- 2 育児支援として取り組んでいる体験保育・育児講座等は、地域の方々に定着し、保育園の持つ力を十分発揮することができました。
- 3 第三者評価を受審し、保護者のニーズを把握して保育サービスの見直しを図るとともに職員間での課題への意識統一を図りました。
- 4 保育グループで導入したチューター制度に加え、自己評価チェックリストを実施し、自己研鑽に努めるとともに、園内外の研修へ積極的に参加するなど、職員の資質向上に努めました。
- 5 リスクマネジメント委員会を立ち上げ、専門のアドバイザーに助言をいただきながら、危機管理についての知識を深め、取り組むことができました。

【利用者支援状況】

- 1 延長保育の定員枠を広げたことで、安心して就労できる環境を提供することができました。
- 2 今年度より縦割り保育を導入し、一人ひとりの育ちにあった援助ができるように取り組みました。
- 3 縦割り保育について保護者の理解を深めるために懇談会や園からのお便り等で伝えていったことや子どもの1年間の育ちを認識し、多くの保護者から理解を得ることができました。

- 4 保育の中でより多くの体験や経験ができるように計画を立て実行してきた結果、子どもが興味、関心を持つことはもちろん一人ひとりの自信へもつながりました。
- 5 港区ボランティアセンターの登録受け入れをし、保育園への理解を深めてもらいました。また、卒園児への職場体験の場としても提供しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
室内塗装工事	588	手洗器児童水洗取付工事	178
電動自転車	110		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
幼児小便器交換工事	735	エアコン清掃	315
園内インターホン改修工事	467	電気自転車	99
		ビジネスホン改修工事	403
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
3歳児保育室床研磨加工	488	ホームサイズ設置	248
幼児カーテン取付	915	3歳児保育室床研磨加工	488
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
園外鉄鋼部分塗装工事	609	パソコン	209
		幼児大小便器交換工事	441
		スチームコンベクション設置	1155
		幼児カーテン取付	160

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39	39	479
女児	31	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	383
合計	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	71	71	862

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	7	12	13	17	11	11	71
平成20年度	6	12	13	13	17	10	71
平成21年度	7	11	12	14	11	16	71

カ 同援みどり保育園 定員 125名

稼働率 104.4%

【施設運営状況】

- 1 前年度に引き続き定員の4%増の弾力化を行い、待機児解消に努めました。また年間を通して変更もなく安定したサービスの提供に努めることが出来ました。
- 2 第三者評価を受審し園の運営状況の把握に努め、今後の課題や改善点に繋げて「よ

りよい保育園」を目指す基盤を作ることが出来ました。

3 近隣の地域子育て中の方のパートナー登録者は多く、また、遊ぼう会等の企画も参加者多数あり「地域子育て支援」の拠点として地域の期待も深まっています。

4 昨年検討中の新任チューター制度を導入して、職員が積極的に人材育成に加わることで効果的な人材育成に努めました。

5 子どもたちが安心して園生活ができる安全で清潔な環境作りを目指し、各所修繕改修、保育室配置や模様替え等全職員で取り組みました。

【利用者支援状況】

1 集団ならではの遊びを多く取り入れた関わりの中で、子どもたちの友だちを認め合う気持ちを大切にした保育に心がけました。

2 例年の行事以外でもお楽しみ会等催したり玩具の見直しをして、子ども達が園生活をワクワクと楽しみながら成長発達し続けるように努めました

3 保護者に「子どもの成長」を感じていただく「運動会、発表会」などや「懇談会」で、子どもたちの生き生きした姿を伝えることに積極的に努めました。

4 長時間保育の園児が多い中職員体制を工夫して、出来るだけ担任と保護者が直接話を出来る機会を作り、コミュニケーション作りに努めました。

5 保護者の意向も伺い話し合いながら、安心して子ども預けられるように保育の環境作りに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
給食リフト工事	1544		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
さくら組床補修工事	1630	さくら組床補修工事	719
		給食リフト工事	1523
		事務所用エアコン	389
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
園舎フェンスペンキ塗装工事	900	漏水復旧工事	930
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
事務所用エアコン	800	門扉電磁交換工事	997
		耐震診断	1575

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	924
女児	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	636
合計	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	1560

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	12	19	24	25	25	25	130
平成20年度	12	19	24	25	25	25	130
平成21年度	12	19	24	25	25	25	130

キ つつじが丘保育園

定員 110 名

稼働率 115.2%

【施設運営状況】

- 1 子ども・子育て応援プラン、次世代育成支援行動計画を受けて保育を実施、出前保育を今年度より行い、地域との交流や子育て支援・就労支援の更なる充実を図りました。
- 2 待機児童解消のため、4月当初より入所定員の弾力化を行い、3月には定員の19%増、昨年比7%増の園児を受け入れました。
- 3 新型インフルエンザの流行に伴い、消毒薬等の備蓄、環境衛生器具の設置を行い感染予防に努めました。またAEDを設置し、危機管理の充実を行いました。
- 4 福祉サービス第三者評価を受審。前回より利用者満足度も高くなっていましたが更なるサービスの改善充実に繋げました。
- 5 園内外の研修に努め、チューター制度を導入し、職員育成に取り組みました。救命技能講習を今年も実施し職員の70%が認定証を取得、救命の取り組みの充実を図りました。

【利用者支援状況】

- 1 子どもが安全で安心して過ごせる環境のもと保育・保健・食のノウハウを生かしながら保育を行い、その様子を即日写真掲示し情報提供することで保護者と共有化を図りました。
- 2 食育活動や書道、茶道等の日本の伝統文化の体験、地域行事への参加等の体験から、豊かな心を持った健康で逞しい子どもの育成に努めました。
- 3 新型インフルエンザ発生時には、園医との連携のもと濃厚接触児の個別保育を行い、感染予防に努めました。
- 4 今年度より近隣の小学校と交流し、本園と小学校との連携を図りました。
- 5 中学生のボランティアを年間を通して、夏期ボランティアや行事へのボランティアも必要に応じて受け入れ、保育園を知っていただき交流を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
電解水生成装置設置	980		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
洗面台改修工事	890	強電解水生成装置設置	993
配膳室改修工事	800		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
テラス改修工事	900	AED(自動体外式除細動器)	381
固定遊具設置	3900	スチームコンベクション	1197
		配膳室キッチン交換工事	980
		幼児室手洗器交換工事	980
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	59	59	60	61	61	64	65	65	65	66	67	67	759
女児	62	63	64	63	64	62	64	64	64	64	64	64	762
合計	121	122	124	124	125	126	129	129	129	130	131	131	1521

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男児	9	9	10	12	14	13	67
女児	12	12	12	10	10	8	64
合計	21	21	22	22	24	21	131

ク 同援さくら保育園 定員 108 名

稼働率 109.3%

【施設運営状況】

- 1 豊島区も待機児が増加し、当園も0・1・2歳児の弾力入所受け入れを行い今年度稼働率は109.3%となりました。（昨年度99.4%）また、東京都社会福祉施設サービス推進費本則適用となり、当園は事業も多く実施しており大幅な収入増となりました。
- 2 特別保育事業（休日保育や病後児保育）や延長保育の柔軟な受け入れや自主事業である学童後延長保育については利用増となり保護者の就労支援に繋がりました。
- 3 第三者評価受審結果や意見箱への意見等を受け止め、改善等についてはお知らせや懇談会で伝えていき保護者の理解を得ながら運営しました。
- 4 地域との連携では、高齢者施設との交流や子育て広場での出前保育、子育て講座の開催、園庭開放等通して子育てへの情報提供や支援に努めました。
- 5 職員育成に向けては、法人・保育グループ・各種保育団体・区研修への計画的参加はもちろんのこと園内研修（保護者・職員間のコミュニケーションのとりかた等）の充実を図り、あわせて新人チューター制度の導入により育成に繋がりました。

【利用者支援状況】

- 1 園が目指している保育目標に向け保護者との共通理解を深める為に、園だよりやクラスだよりや懇談会の内容を工夫したり、保育参観や個人面談を積極的に行いました。
- 2 年々長時間延長保育希望の入園が増え、2時間・3時間延長保育利用や休日保育利用や病後児保育利用も前年度に比べ増加就労支援に繋がりました。
- 3 豊島区ボランティアセンターへの登録、保育士希望者によるボランティアの受け入れや中学生の職場体験受け入れにより園児が職員以外との交流がたくさん出来、あわせて保育園理解にも繋がりました。
- 4 近隣小学校との交流が実施出来、年長児が小学校入学への期待が持てたり、小学生が（1・2年生）幼児との関わり楽しむことが出来た。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
網戸修理	100	網戸修理	91
給食ソフト	300		

パソコン	250		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
園庭補修	1039	サッシ戸ゴム取替	84
サッシ戸ゴム取替	100		
猫よけネット	305		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
床補修	200	猫よけネット	305
		園庭補修	957
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
臼購入	200	給食ソフト	150
雛人形	200	臼購入	200
		雛人形	170
		ノートパソコン	116

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	59	58	58	58	58	58	58	58	59	59	59	59	701
女児	59	59	60	60	60	60	60	60	59	59	59	59	714
合計	118	117	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	1415

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成19年度	12	15	18	19	17	21	102
平成20年度	12	18	18	20	23	19	110
平成21年度	15	20	20	21	19	23	118

2 高齢者支援系施設の経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、並びに認知症高齢者グループホーム等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 接遇技術向上のためのグループ研修の他、スウェーデンからの新しい介護手法を活かした新次元の福祉サービスを目指し、「ブンネ法」を取り入れた研修会を開催しました。
- 2 地域高齢者に細やかな相談援助をおこなう相談センターの運営を開始しました。
- 3 優秀な人材を確保するとともに、利用者の立場に立ち、「個人の尊厳」や「ひとりひとりに応じた自立支援」のできる貢献度の高い福祉人材の育成を目指し、ヘルパー2級養成校の開校に向けた取組みをおこないました。
- 4 法令遵守、そして開かれた質の高いサービスを提供し続けるため、積極的に第三者評価機関の導入や情報開示を行い、信頼と実績に築かれた施設運営を行って参りました。
- 5 介護従事者の処遇や環境改善を進め、「やりがいのある」質の高いサービスを安定的に提供するため、処遇改善交付金をはじめとする各種助成金を活用して、環境改善に努めて参りました。
- 6 各施設が介護職員の技術向上のための研究を行うなど、先駆的取組みをおこない、グループ全体のサービスの向上に繋がりました。
- 7 介護報酬単価の改正により、努力加算の算定が可能となるような体制作りを行いました。これにより、グループ全体としては安定的な経営に繋がりました。

(1) 養護老人ホーム

原則 65 歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護しました。

万世敬老園 定員 200 名

稼働率 100.1% 平均年齢 78.0 歳(最高 95 歳 最低 61 歳) 男女比率 54 : 46
平均在所期間 23 年(最長 29.5 年)
年間入所 23 名 主な入所理由 (虐待、帰来先なし)
年間退所 24 名 主な退所理由 (死亡)

【施設運営状況】

- 1 緊急一時保護としての利用から、その後入所となるケースにより、年間の入所率は 100.1%であった。
- 2 利用者の高齢化に伴う、利用者の安全確保のため、ナースコールを全居室に設置し、効率的な情報伝達による生活支援に努めた。
- 3 第三者評価では、新型養護老人ホームプロジェクト活動、利用者心身機能維持向上支援、職員研修の充実が評価された。また、組織力強化、介護予防へのさらなる取組み、職員の意欲向上のための一層の工夫の必要が改善点としてあげられた。
- 4 職員の育成に関して、研修への積極的参加、複数担当制によるケースワーク、並びに各フロア独自の工夫を展開させた。

【利用者支援状況】

- 1 利用者自治会及び各種委員会活動のさらなる活性化により、利用者主体の生活を支援した。
- 2 新型養護老人ホーム介護予防プロジェクトの活動により、朝の体操、外出支援等の日常生活に介護予防の実践が展開した。

- 3 居住空間の整備として居室の床張替やベッド購入により、利用者居室及びフロアへの環境整備を行った。
- 4 安全対策として、ナースコール全居室設置、感染対策委員会の環境衛生活動により、安全な生活支援を行った。
- 5 小グループでの地域へのボランティア活動は減少したが、個別の能力を活かした地域への活動は継続してきた。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
食器洗浄機	2500	食器洗浄機	1650
デイルーム空気清浄機	1000	デイルーム空気清浄機	1165
大浴場脱衣場空調	800	大浴場脱衣場空調	735
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
リフト付き自動車	5000	リフト付き自動車	4020
屋外照明（防災用）	1000	屋外照明（防災用）	682
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
居室床張替	6500	居室床張替	2362
診療室壁紙改修	800	診療室壁紙改修	196
		ナースコール設備設置工事	13954
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
大浴場タイル張替	1000	居室用ベッド	945
居室用ベッド	1000		

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	110	110	110	109	109	108	108	108	108	108	108	108	1304
女性	90	90	91	92	92	92	93	92	92	92	92	92	1100
合計	200	200	201	201	201	200	201	200	200	200	200	200	2404

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年 度	実人員	年 齢 別 内 訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成19年度	200	3	20	50	53	38	23	13
平成20年度	200	1	18	49	56	37	28	11
平成21年度	200	4	21	44	54	39	28	10

(2) 軽費老人ホーム

原則 60 歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を施設長との利用契約により無料または低額な料金で、日常生活に必要な便宜を供与しました。

なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されました。

ア A型 サンホーム 定員 50 名

稼働率 100.0% 平均年齢 83.9 歳(最高 103 歳 最低 72 歳) 男女比率 38 : 62
 平均在所期間 6.2 年(最長 21 年)
 年間入所 9 名 主な入所理由 (独居の不安)
 年間退所 4 名 主な退所理由 (入院)

【施設運営状況】

- 1 施設の利用状況においては、前年度同様に 100%の稼働率であった。年度当初は利用者の入れ替わりもなく安定していたが、年度末に 3 名の入れ替わりがあった。
- 2 稼働率の維持をすることにより、安定した収入の確保に努めた。サービス推進費においては、利用者の要介護により努力実績加算の変動が見られた。
- 3 地域とのかかわりとして、年間を通して公開講座を実施し、施設開放に努めた。次年度も継続して実施いたしたい。
- 4 第三者評価においては、本年度も実施した。その結果を受け、職員全体へ説明し、運営に対する理解を深めることに努めた。
- 5 常勤職員の研修参加率 目標 100%を掲げ運営にあたる。それぞれの人事考課目標や育成目標に沿った内容の研修に参加し、成果を得られた。

【利用者支援状況】

- 1 楽しみのある食事を意識し職員参画による手作りメニューを多く提供したり、食堂の配置などを工夫し食の楽しみが増えた。
- 2 個別的支援、介護予防計画においては処遇会議で個人を理解し、利用者プランを作成することができた。
- 3 介護予防を主眼としたサークル、クラブ、同好会活動を継続していった。新しいサークルを設立し利用者の自主的活動を活発に行った。
- 4 施設開放月を設け、サンホームを知っていただけるよう地域住民への呼びかけを行った。多くの参加者で終了することができた。
- 5 逆ボランティアとし個々の持てる力を抽出し他施設に出向き活動を行った。日々活動の幅も広がり、人数も増えた。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名 (購入・工事)	金額	物品名 (購入・工事)	金額
第 1 期 (4~6 月)		第 1 期 (4~6 月)	
車両 (ハイエース)	2800	車両 (ハイエース)	2634
屋外電気設備移設	500	行事用テーブル	546
行事用テーブル	550	調理用倉庫	133
調理用倉庫	522	全自動血圧計	211
全自動血圧計	350		
第 2 期 (7~9 月)		第 2 期 (7~9 月)	
サーバー入替	300	サーバー入替	106
ホームページ作成	500		
第 3 期 (10~12 月)		第 3 期 (10~12 月)	
電話交換機交換工事	2500	ホームページ作成	499
第 4 期 (1~3 月)		第 4 期 (1~3 月)	

食器洗浄機	3600	電話交換機交換工事	1470
		食器洗浄機	3000

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
女性	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
合計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年 度	実人員	年 齢 別 内 訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成19年度	50	2	5	8	18	10	6	1
平成20年度	50	1	4	11	18	10	4	2
平成21年度	50	1	4	11	18	10	4	2

イ B型 ライトホーム 定員 50名

稼働率 84.2% 平均年齢 80.9歳(最高 92歳 最低 66歳) 男女比率 6:35
平均在所期間 10.6年(最長 24.1年)

年間入所 0名 主な入所理由

年間退所 2名 主な退所理由（別施設へ入居）

【施設運営状況】

- 第三者福祉サービス受審の結果では、利用者対応や業務のPC化による業務の効率等、評価されています。懸案だった福祉サービス第三者委員を委嘱できました。
- 定期的個人面接以外にも随時相談対応の体制や、利用者どうし、より話しやすいロビー環境の設定等、生活感の安定・継続に努めました。
- 施設の老朽化を補う利用者の居住環境の整備は、安全で快適な生活を送っていただくために、居室不具合の修理、エアコンフィルターの清掃、ナースコール点検等を実施しました。
- 職員の能力・特性や創意工夫を活かした業務作り、また高齢者の心理的な理解や知識向上に向けて、専門性をめざして取りくんできました。

【利用者支援状況】

- 体操、コーラス等の介護予防事業の継続と、利用者の希望もあり映画会を月2回に増やし、実施いたしました。また利用者の趣味活動の幅を広げ、交流の場となるお茶会を催しました。
- 生きがいを持って暮らせるように、市社協を中心とした地域の活動情報提供や、活動参加者の相談対応等、継続性に努めています。
- 自炊困難者には、市社協の食事サービスや、業者による高齢者宅配食事サービスが利用できるように、情報の提供、支援をすすめてきました。
- 要介護申請、介護保険サービスの利用等についても、家族の理解や協力、また関係機関と連携をとり、施設での生活継続を支援しています。
- 疼痛緩和や心身のリラックスということで、訪問マッサージ（週1～2回）を定期的に受けられるように協力関係者と調整し、該当利用者には好評でした。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
電力量計交換工事	800		
耐震検査	3600		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
		電力量計交換工事	663
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		耐震検査	2776

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
女性	37	37	37	37	37	36	35	35	35	35	35	35	431
合計	43	43	43	43	43	42	41	41	41	41	41	41	503

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		~64	~69	~74	~79	~84	~89	90~
平成19年度	46	1	2	4	10	17	11	1
平成20年度	43	1	1	5	9	13	11	3
平成21年度	41	0	2	4	8	9	15	3

(3) 特別養護老人ホーム

老人福祉法第11条第1項第2号の措置にかかる方(原則65歳以上であって、身体上または精神上著しい障害があるために常時の介護を必要とされ、かつ居宅においてこれを受けることが困難なであり、やむを得ない事由により介護保険法に規定する介護老人福祉施設に入所することが著しく困難であると認められる方)または介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給にかかる方等を養護しました。

ア フジホーム 定員100名(短期入所 専用4名・空床利用6名)

稼働率96.8% (短期入所157.5%・空床利用含む)
 平均年齢86.7歳(最高106歳 最低61歳) 男女比率1:3
 平均在所期間4.3年(最長17.9年)
 年間入所 18名 主な入所理由(在宅生活が困難)
 年間退所 21名 主な退所理由(死亡、長期入院)

【施設運営状況】

1 平成21年度は、地域の拠点施設として、市の包括支援センターとも連携をとりながら急速に進んでいる高齢化や公的サービスへ繋ぐ事の難しさに対応するためにお年寄り

総合相談センターを設置し地域のニーズに応える体制をととのえました。

2 その他地域交流会、地域との防災協定に基づく合同の防災訓練の実施、ボランティアの介護教室実施等住民の方が地域資源を活用しやすくするネットワーク作りのを目指しました。

3 入所に関しても早期の面接をおこなうようにし、ゆとりをもって入所に向かえるようにすると共に、ショートステイについても、中、長期についても受入れ利用者の要望にかなうよう努力し、稼働率の向上をめざし前年度より2%アップとなり、収支状況も安定した状態で推移する事ができました。

4 サービスの向上についても東京都の先駆的の事業であるサービス評価、職員育成改善計画に取り組み、職員の資質向上に繋げました。

【利用者支援状況】

1 フジホームのケアの基本は「寄り添うケア」であり、そのためにケアプランの更なる充実を図ってきました。ケアプランにはご家族もご参加いただき、利用者、ご家族の希望を最大限取り入れながら、ICFを念頭に作成してきました。

2 個々の利用者の健康管理・維持においては、口腔ケアを徹底継続し、口腔内の衛生面に対するケアやそこからくる肺炎等の発症を減らす努力や個々の状態に応じた排泄ケアを模索してきました。

3 利用者の重度化対応の為、研修等へ積極的に参加し、フィードバックすることで、より安心・安全なケアをめざしてきました。看取りについても、徐々にではありますが着実に取り組んで来ました。

4 地域交流の面においては、昨年度同様「逆デイサービス」を継続することで、利用者の精神面の安定を図り、新規に「傾聴や演芸等」のボランティアを導入することで、利用者の満足度の向上に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
玄関横環境整備	980	受付スペース工事	987
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
中庭外壁修繕	3000		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
加湿器購入	200	液晶テレビ3台	583
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
リフト付軽自動車購入	1500	食器洗浄機購入	1816
		各階戸車劣化補修	462

年間利用状況(各月実人員：短期入所含)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	27	27	28	27	29	25	26	28	28	29	31	28	333
女性	94	94	91	93	96	92	96	99	92	91	89	95	1122
合計	121	121	119	120	125	117	122	127	120	120	120	123	1455

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計

平成 19 年度	97		4	16	23	31	23	97	
平成 20 年度	100		5	13	27	30	25	100	
平成 21 年度	97		4	9	30	39	15	97	

イ ニューフジホーム 定員 100 名（短期入所 専用 4 名・空床利用 6 名）

稼働率 93.7%（短期入所 122.1%・空床利用含む）

平均年齢 86.4 歳(最高 99 歳 最低 60 歳) 男女比率 1 : 4

平均在所期間 4.1 年(最長 23 年)

年間入所 22 名 主な入所理由（自宅介護が困難、経済的理由等）

年間退所 24 名 主な退所理由（死亡、長期入院等）

【施設運営状況】

1 入所の迅速化を心がけましたが、利用者の重度化が進み死亡や長期入院による退所が増えた結果、入退所の異動が前年度の水準を大幅に上回り、利用率が伸びませんでした。

2 平均介護度は全国平均よりやや低いですが、身寄りのない方など経済・家族関係を理由とする入所者が 4 割弱在籍しており、福祉施設本来の役割を果たしていると言えます。

3 慢性的な看護・介護職員不足が深刻化しており、施設内でも職員のストレスマネジメント、研修機会を増やし職員のモチベーションアップに努めたほか、従事者の負担軽減のために介護用リフトを購入しました。

4 フジホームや昭島病院、地域包括支援センターと連携し、地域住民や民生委員・介護事業者・医療機関との懇談会を開催し、住民が地域資源を活用できるネットワークづくりをすすめました。

5 開設から 30 年近く経ち、施設の老朽化も目立ち始めました。屋上の防水工事をはじめ、空調や浴室設備の不具合も多く緊急的な整備を必要としました。

【利用者支援状況】

1 スウェーデン式介護法を積極的に取り入れ、「ブンネ法」（音楽的アプローチ）の充実や、北欧施設との比較検討を行い日々のケアの点検を行うなど介護技術の向上に努めました。

2 小型のリフト付自動車を購入し、外出する機会も増えました。利用者の余暇の充実をはかるだけでなく、利用者の希望や新たな一面を発見することができたことで、職員の意識向上にもつながりました。

3 年間 1 千人以上の地域のボランティアを受け入れていますが、新たに社協のボランティアセンターと連携し、ボランティア育成を進めるだけでなく、近隣の保育園や小中学校等多彩なボランティアを受け入れることができました。

4 サービスマナー委員会による接遇マナーのセルフチェックを定期的に行い、職員全体の意識改革に努め、第三者評価においても好評価をいただきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
車椅子対応自動車	3000		
超低床電動ベッド	700		

電動ベッド	700		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
看護 PHS システム	500	車椅子対応自動車	2649
		電動ベッド	1056
		空調取替工事	882
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
ホームページ作成	800	ホームページ作成	787
		ブンネ式音楽療法器	378
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
介護リフター	1000	介護リフター	968
		屋上防水工事	857
		業務用大型乾燥機	1454

年間利用状況(各月実人員：短期入所含)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	19	19	19	19	18	19	18	18	19	20	18	19	225
女性	91	92	88	92	92	90	90	87	84	86	88	89	1069
合計	110	111	107	111	110	109	108	105	103	106	106	108	1294

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	99			9	15	33	24	18	99
平成20年度	98			8	12	32	30	16	98
平成21年度	99			7	12	31	35	14	99

ウ 原町ホーム 定員 50 名(短期入所 専用 2 名・空床利用 4 名)

稼働率 98.6% (短期入所 147.1%・空床利用を含む)

平均年齢 87.7 歳(最高 104 歳 最低 63 歳) 男女比率 1:4

平均在所期間 6 年(最長 23.8 年)

年間入所 15 名 主な入所理由(在宅での生活が困難なため)

年間退所 14 名 主な退所理由(死亡 長期入院)

【施設運営状況】

1 年間稼働率は、98.6%となりましたが、空床期間を出来るだけ短期間とする意識が職員個々に共有されていたこと、「アットホーム」と評される雰囲気の中で、利用者の方を最後まで看取っていく姿勢がご家族からも評価された結果ではないかと考えられます。

2 原町ホームの理念である「その人らしい生活」の実現の為、ケアプランの充実を図り、そのプランによりサービス内容を見直すことでケアの改善に努めて参りました。

3 ひとつの試みとして地域の独居生活のデイサービス利用者の方に対して、正月三日の昼食をホームで提供することにより、その利用者の方の「その人らしい生活」の実現を目指しました。

4 新規事業としてスウェーデン式音楽療法の「ブンネ療法」の取組を模索する為、研

修会等へ職員を派遣しました。次年度どのように具体化するか検討していきたいと思
います。

5 実習生やボランティアの受入れは積極的に行いました。ボランティアについては、
コーディネーター職員を配置し、新たな展開へとつながっています。職員育成では個々
に必要な研修への参加や職場内での OJT を通して意識や技能の向上を図りました。

【利用者支援状況】

1 以前は(火)と(金)の2日間で全ての利用者に入浴してもらっていたが、今年度より水
曜日以外毎日入浴日を用意することで、余裕が生まれ入浴においても個別対応が可能と
なった。その結果利用者もゆっくりと入浴できるようになった。

2 スウェーデン式認知症緩和ケア(タクティールケア)を継続することで、更なる介
護技術の向上をはかった。

3 ボランティアコーディネーターを養成するための研修会へ参加し、ボランティアの
みなさんと、更に良好な関係が作れるようにした。

4 高田馬場地区で使用されている「アトム通貨」を導入することで、ボランティアの
みなさんへ感謝の気持ちを表すこと。新しいボランティアの育成にも力を入れていくこ
とを決定した。

5 利用者のみなさんが参加する歌合戦を企画することで、普段と違う雰囲気の中、歌
声を披露してもらい、みなさんに楽しんでもらった。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
電話設備更新	1360	電話設備更新	999
		非常口扉修理	350
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
電気温水器設備交換	9700		
スチームコンベクション	2560		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
居室カーペット更新	2000	補助散水栓	530
		スチームコンベクション	1920
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
樹木の剪定	607	居室カーペット更新	240
		車購入セレナ	2730

年間利用状況(各月実人員：短期入所含)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	8	8	8	7	8	8	8	9	8	9	10	9	100
女性	52	54	55	53	54	57	54	57	57	54	57	59	663
合計	60	62	63	60	62	65	62	66	65	63	67	68	763

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	50	0	0	3	2	9	17	19	50
平成20年度	50	0	0	4	3	9	13	21	50
平成21年度	49	0	0	4	1	8	17	19	49

エ ゆたか苑 定員 50 名（短期入所 専用 4 名・空床利用 4 名）

稼働率 95.6%（短期入所 111.6%・空床利用を含む）
 平均年齢 87.0 歳（最高 102 歳 最低 69 歳） 男女比率 2：25
 平均在所期間 4.3 年（最長 14 年）
 年間入所 6 名 主な入所理由（在宅生活が困難なため 他施設より転居）
 年間退所 5 名 主な退所理由（死亡）

【施設運営状況】

- 1 地域町会等の協力のもと「脳いきいき教室」を開講。要援護高齢者の介護予防に向けた取り組みをおこないました。
- 2 ひとり暮らし高齢者のための、「ホームでランチ」交流会を定期的開催（全 15 回 述べ 53 名）し、地域コミュニティケアの実践をおこないました。
- 3 人材育成につまましては、高い定着率で経過し、質の高いサービスを提供。第三者評価においても、A プラスが 6 つ、その他全項目オール A と高く評価されるかたちとなりました。
- 4 地域町会との災害時応援協定を締結し、震災時の安全を担保。地域の拠点としての福祉施設の役割に邁進しました。
- 5 利用状況については入院者数が増加。前年比の稼働率では、ショートステイで 2.4% の伸びを示し 111.6% を確保できたものの、全体では△1.1% の 95.6% に留まりました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者サービスに関しましては、丁寧でやさしい「寄り添う介護」を目指しました。全国老人福祉施設協議会より鹿児島大会において、最優秀賞をいただきました。
- 2 相談員ボランティアの導入（月 2 回）をおこない、質の高いサービスとともに、利用者支援の向上に繋げています。
- 3 利用者のご要望に専門職として応えていけるよう、毎月勉強会を開催。マンツーマンケア、認知症緩和ケア、看取りケアと利用者満足度の高いサービスの実践に繋げています。
- 4 生活環境においては、居室環境の整備に重点を置き、内装の修繕をおこなうとともに、美化活動の強化に努めてきました。
- 5 「利用者のなまの声」を、余暇活動の充実に関係しています。外出支援では 100 歳のお祝いを一泊旅行先でおこなうことができ、魅力ある介護の実現を果たせました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
2 階居室洗面台工事	600	居室洗面台親切	557
手洗器排水管取替	958	男子更衣室ほか配管工事	713

ファンコイルオーバーホール	1575	1階クロス張替	998
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
介護浴槽	6000	ファンコイルオーバーホール	1492
		1階クロス張替	945
		空調取替工事	882
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
内装壁紙補修	2500	居室クロス張替	130
		2階居室クロス張替	634
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		介護浴槽	4127

年間利用状況(各月実人員:短期入所含)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	7	7	7	6	6	7	7	7	7	7	6	6	80
女性	57	54	58	58	54	58	58	58	56	56	55	56	678
合計	64	61	65	64	60	65	65	65	63	63	61	62	758

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	49	0	0	1	3	10	20	15	49
平成20年度	49	0	0	0	1	17	18	13	49
平成21年度	48	0	0	0	0	14	21	13	48

オ ひかり苑 定員50名(短期入所 専用4名・空床利用5名)

稼働率 96.7% (短期入所 92.5%・空床利用を含む)

平均年齢 81.0歳(最高100歳 最低66歳) 男女比率 1:3

平均在所期間 4.4年(最長13年)

年間入所 8名 主な入所理由(他施設より転居)

年間退所 8名 主な退所理由(死亡、長期入院)

【施設運営状況】

- 1 利用率の目標数値である97.1%に達成した理由として、東村山市及び北区から緊急保護である措置入所者を積極的に受け入れました。
- 2 地域と協働する福祉サービスの一環として実施しているサマーコンサートは、第三者評価において「A+」の評価を受けました。
- 3 情報発信媒体であるホームページ及びパンフレットは、専門業者などに依頼して刷新を図りました。
- 4 東京都補助金を活用した研究として、スウェーデン・クオリティ・ケアと協働しながら先駆的な介護技術の取り組みました。
- 5 職員は質の高いサービスを担保するため、法人内外の研修に積極的に参加しました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の方の自立支援を踏まえ、2階食堂前のトイレの改修工事を行いました。
- 2 利用者の方が安心して快適な入浴を可能とするため、機械浴室(更衣室含)の全面改修工事を行いました。
- 3 感染症予防策として居室全室及び食堂に加湿機能付空気清浄を設置した結果、感染

症発生ゼロにつながりました。

4 関係機関と情報の共有化により実習生、研修生及びボランティアを積極的に受け入れ、利用者の方の余暇活動の充実を図りました。

5 関係機関と協力しながら利用者の方、ご家族の意向を重視したターミナルケアを実践しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
機械浴槽及び更衣室改修	11000	音響設備一式	745
2階利用者トイレ改修工事	800		
音響設備一式	900		
外部配線工事	500		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
地デジ対応型テレビ、冷蔵庫、洗濯機	1500	地デジ対応型テレビ、冷蔵庫、洗濯機	1170
ホームページ作成	500	ホームページリニューアル	498
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
ナースコール修理、電話器交換工事	4000	加湿機能付空気清浄機(全居室)	1595
加湿機能付空気清浄機33台	1300	2階食堂前トイレ改修工事	2000
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		機械浴槽2台交換	8732
		機械浴槽更衣室改修工事	1330
		電話器交換工事	1470

年間利用状況(各月実人員：短期入所含)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	12	13	15	15	12	12	14	14	13	16	16	17	169
女性	53	50	50	49	50	46	47	48	48	49	46	46	582
合計	65	63	65	64	62	58	61	62	61	65	62	63	751

利用者状況推移

年度	実人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	50	0	0	2	6	11	12	19	50
平成20年度	51	0	0	2	6	12	12	19	51
平成21年度	51	0	0	1	7	10	15	18	51

(4) 老人デイサービスセンター

老人福祉法第10条第1項第2号の措置にかかる方(原則65歳以上であって、身体上または精神上著しい障害があるために日常生活を営むのに支障があり、やむを得ない事由により介護保険法に規定する通所介護を利用することが著しく困難であると認められる方)または介護保険法の規定による通所介護に係る居宅介護サービス費の支給にかかる方等へ、通所

により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

ア フジ・デイサービスセンター 定員 25 名

稼働率 78.9% 1 日平均利用者数 19.7 名 男女比率 1 : 4
平均年齢 83.0 歳 (最高 102 歳 最低 67 歳)

【施設運営状況】

- 1 水曜日の個別機能訓練を始め、利用者の方の身体状況を把握した上での対応を行っている。他、生活リハビリによって、個々の自立援助を行なった。
- 2 各関係機関との信頼関係を築くため、連絡調整・書類提出・コミュニケーションなどの各場面で、迅速かつ適切に対応できるような組織を目指し、事業を展開していった。
- 3 各利用者の生活習慣・嗜好を常に把握しておき、それを尊重した援助を行っていった。ミーティングや OJT の場で職員同士情報共有し、より良いサービスに繋げていった。
- 4 地域のボランティアを積極的に受け入れる事でリクリエーションの幅を広げ、利用される方の喜びにつなげるようにした事により稼働率 8 パーセントアップへとつなげる事が出来た

【利用者支援状況】

- 1 職場内外の研修を利用し、職員の人材育成に努めた。又、その内容に関して、実際の業務・ミーティングの場などを通し全職員に周知し、利用者サービスの向上へと繋げていった。
- 2 介護者の見守りの中、自立支援の視点から必要な援助を行なった。地域・家庭生活上で自尊心を持って過ごすことができることを目指し援助した。
- 3 サービスの提供に当たっては、ボランティア・地域の方の力を積極的に活用した。マンパワーとしての意味合いは勿論、地域との交流を広げ、より充実した時間が過ごせるよう工夫して対応していった。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名 (購入・工事)	金額	物品名 (購入・工事)	金額
第 1 期 (4~6 月)		第 1 期 (4~6 月)	
パソコン	160		
肘掛椅子	120		
第 2 期 (7~9 月)		第 2 期 (7~9 月)	
DVD デッキ	100		
第 3 期 (10~12 月)		第 3 期 (10~12 月)	
介護予防グッズ	200		
地デジ対応型テレビ	300		
第 4 期 (1~3 月)		第 4 期 (1~3 月)	
		地デジ対応型テレビ	177
		パソコン	315

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	88	90	115	117	109	106	115	97	94	98	90	118	1237
女性	394	397	401	413	415	416	431	394	388	396	376	417	4838
合計	482	487	516	530	524	522	546	491	482	494	466	535	6075

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	介護	500	143	1416	1894	1167	404	183	5707
	送迎	943	161	2512	3579	2198	791	366	10550
	食事	500	143	1416	1894	1131	404	183	5671
	入浴	105	36	374	218	636	154	0	1523
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
平成20年度	介護	238	221	1731	1903	976	333	88	5490
	送迎	476	246	3265	3791	1870	642	176	10466
	食事	238	221	1731	1903	927	333	88	5441
	入浴	101	33	373	214	633	152	0	1506
	機能訓練	0	0	79	0	52	11	0	142
平成21年度	介護	218	264	2274	1616	1114	479	110	6075
	送迎	401	514	4110	3102	2223	948	211	11509
	食事	218	264	2274	1616	1065	479	110	6026
	入浴	41	0	469	374	479	144	92	1599
	機能訓練	0	0	179	0	119	27	0	325

(注) 1「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。
2「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

イ フジ・デイホーム 定員 10 名

稼働率 71.7% 1日平均利用者数 7.2名 男女比率 1:2.4
平均年齢 82.6歳(最高 103歳 最低 58歳)

【施設運営状況】

- 8月に施設入所が決まった利用者が重なったことから稼働率が下がり、なかなか回復出来なかったが、2月に新規利用者がまとめて入った為、年度末に稼働率が上昇した。
- おやつ作りや菖蒲湯、柚子湯などデイホーム独自の行事やデイサービスと合同で夏祭りをを行い、大勢で楽しむなど利用者満足に繋がった。
- 情報公開制度を利用したり、独自にデイホーム通信を発行するなど、より多くの情報を発信することが出来た。
- 介護を学ぶ学生や中学生の職場体験を受け入れたりして地域に対し開かれた施設を目指した。
- 職員の入れ替えは殆どなかったが、新規職員に対してはまず最初に相談員が一貫して主な業務を指導した。また、職員それぞれが向上心をもって臨み3名が介護福祉士を取得した。

【利用者支援状況】

- 1 利用者個々のニーズに合った活動を模索し、提供できた。
- 2 認知症の緩和ならびに身体機能の低下を防ぐために様々な体操や創作活動などの静的活動をバランスよく組み合わせて提供した。
- 3 一般型デイサービスでは行くことが困難な遠方の利用者にも対応した。
- 4 「デイホームなら入浴できる」という印象を持って頂けるよう入浴希望になるべく応えた。
- 5 利用者に対し職員が概ね2対1以上の割合となれるよう努め、実習生なども積極的に活用した。

【施設整備状況】

なし

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	39	39	38	35	29	35	41	44	46	49	64	84	543
女性	141	144	147	151	130	128	137	129	127	123	139	170	1666
合計	180	183	185	186	159	163	178	173	173	172	203	254	2209

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	介護			351	317	839	333	377	2217
	送迎			351	317	839	333	377	2217
	食事			351	317	839	333	377	2217
	入浴			42	107	693	186	151	1179
	機能訓練			0	0	0	0	0	0
平成20年度	介護			367	458	904	425	227	2381
	送迎			367	458	904	425	227	2381
	食事			367	458	904	425	227	2381
	入浴			14	310	454	277	226	1281
	機能訓練			0	0	0	0	0	0
平成21年度	介護			194	600	888	330	197	2209
	送迎			194	600	888	330	197	2209
	食事			194	600	888	330	197	2209
	入浴			40	240	496	191	213	1180
	機能訓練			0	0	0	0	0	0

(注) 1 「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。

2 「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

ウ 原町高齢者在宅サービスセンター 定員 15名

稼働率 90.9% 1日平均利用者数 13.6名 男女比率 1:9
平均年齢 84.0歳（最高90歳 最低62歳）

【施設運営状況】

- 1 入所ニーズは高く、稼働率は向上し、20年度81.1%に対し21年度は90.9%と高い稼働率を維持した。
- 2 認知症緩和ケア、タクティールケアを本年度も実行し、認知症ケアの向上に努めた。
- 3 9月～11月にかけて第三者評価を行い、新宿区のホームページに情報公開した。評価についてはA+が2項目、他はすべてA評価であった。
- 4 地域密着型サービスとして、地域のケアマネージャーの信頼も高く、認知症高齢者の在宅生活を支えた。榎町高齢者相談センターとの連携も強く、独居の認知症高齢者のサービスなど困難事例についても対応を多くした。
- 5 毎月勉強会を行い、認知症の理解、医療と介護の連携、地域包括ケア、マーケティングや顧客接遇などを学習した。

【利用者支援状況】

- 1 医療と介護の連携を図り、訪問看護や在宅訪問医療と協力し医療的ニーズの高い認知症利用者のケアを行いました。
- 2 地域包括的ケアの実現のため、総合相談センター、各居宅介護事業所、原町ホームと連携し、コミュニティで認知症利用者の在宅サービスを支援しました。
- 3 根拠のある認知症ケアを行うため、認知症状をアルツハイマー型、脳血管性型、前頭葉型でその特性を理解し、対応を個別に適切に判断し、認知症状の緩和ケアを行いました。
- 4 送迎については、新宿区特性（バリアフリーでない場所が多い）を考慮し、安全、安心に行うようにし事故のない移動介助をドアツードアで行いました。
- 5 認知症高齢者の抱える苦痛を職員が十分に理解し、その緩和ケアをタクティールケアを取り入れて行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
介護支援ソフト器機の更新	546	介護支援ソフト器機の更新	1170
電話設備更新	340		
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
送迎車の購入	3138	電話設備更新	343
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		送迎車の購入	660
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	30	26	30	34	31	38	52	49	45	35	41	41	452
女性	319	308	286	317	314	333	336	307	279	311	312	325	3747
合計	349	334	316	351	345	371	388	356	324	346	353	366	4199

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	介護			145	223	981	1038	864	3251
	送迎			290	268	1962	2076	1728	6324
	食事			145	223	981	1038	738	3125
	入浴			145	221	820	1010	846	3042
	機能訓練			145	223	981	1038	864	3251
平成20年度	介護			490	166	1322	807	952	3737
	送迎			980	332	2644	1614	1904	7474
	食事			490	166	1322	807	952	3737
	入浴			490	126	1322	807	763	3508
	機能訓練			490	166	1322	807	952	3737
平成21年度	介護			709	423	1177	591	1299	4199
	送迎			1418	846	2354	1182	2598	8398
	食事			709	321	1177	591	1197	3995
	入浴			709	423	1177	591	707	3607
	機能訓練			709	423	1177	591	1299	4199

(注) 1「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。

2「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

エ 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑 定員 12名

稼働率 83.7% 1日平均利用者数 10.1名 男女比率 8:17
平均年齢 77.5歳（最高95歳 最低58歳）

【施設運営状況】

- 1 利用率の目標数値である85%には達成しなかったが、昨年度より3.4%増の83.7%であり、年間延べ人数に換算すると31名の不足でした。
- 2 コンプライアンス及びエビデンスに基づくサービス提供のため、生活相談員が年間12回の研修に参加して、東京都社会福祉協議会などで研究発表を行いました。
- 3 職員の資質向上及びサービスの質の向上のため、東京都社会福祉協議会のデイサービス支援効果委員として介護職員を派遣しました。
- 4 保険者及び関係諸機関と連携して、困難事例の新規利用者を積極的に受け入れました。
- 5 地域と協働する福祉サービスを充実するため、地元の社会福祉協議会や高等学校などから実習生・ボランティアを受け入れました。

【利用者支援状況】

- 1 認知症ケアの充実を図るため、専門的な知識・技術を習得するタクティール研修、ブンネ法研修など積極的に取り組みました。
- 2 認知症利用者の効果的な活性化を図るため、スウェーデン・クオリティー・ケアと協働してブンネ法（音楽療法）を導入しました。
- 3 利用者の方のプライバシー保護のため、鍵付トイレ・カーテン・ガラスフィルムなどの改修工事をしました。
- 4 安全で効率的な送迎サービスを実現するため、ドライブレコーダーの搭載及び送迎ルートの検証を定期的に変更しました。

5 ボランティア確保のため関係機関、近隣住民及び高等学校と情報の共有化を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
地デジ対応型大型テレビ	560		
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	118	113	118	113	115	121	104	97	102	93	89	111	1294
女性	167	134	149	157	141	148	154	149	142	152	145	162	1800
合計	285	247	267	270	256	269	258	246	244	245	234	273	3094

利用者状況推移(各年度延人数)

年度		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成19年度	介護	0	0	29	343	1004	323	637	2336
	送迎	0	0	29	343	1004	323	637	2336
	食事	0	0	29	343	1004	323	637	2336
	入浴	0	0	1	119	366	159	265	910
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
平成20年度	介護	0	0	415	134	1045	622	577	2793
	送迎	0	0	415	134	1045	622	577	2793
	食事	0	0	415	134	1045	622	577	2793
	入浴	0	0	226	80	398	323	209	1236
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
平成21年度	介護	0	0	292	112	1286	1054	350	3094
	送迎	0	0	292	112	1286	1054	350	3094
	食事	0	0	292	112	1286	1054	350	3094
	入浴	0	0	139	63	506	509	98	1315
	機能訓練	0	0	29	343	1004	323	637	2336

(注) 1「送迎」「食事」「入浴」「機能訓練」の人員は、「介護」と重複する。

2「入浴」の人員は、一般浴と機械浴の合計。

(5) 地域包括支援センター

要介護状態等となることを予防するため、保健医療の向上及び福祉の増進を図るための総合的な支援や権利擁護のため必要な援助、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、包括的かつ継続的な支援により、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として下記の事業を行いました。

新宿区原町ホーム地域包括支援センター

【施設運営状況】

- 1 総合相談の件数は上まわったが、地域支援事業のプラン作成数が落ち込んだせいか、介護予防の相談が、昨年比で年間で70件弱減っていた。
- 2 新規事業として、「新宿いきいき体操」の普及啓発を行い、「認知症サポーター講座」も年3回行った。(えのき福祉まつり、都営弁天町住宅自治会、東京シテイ銀行)
- 3 毎月1回行われる地区民生委員・児童委員協議会への参加を定例化した。そのことにより、地域への連携がさらに高まった。
- 4 地域の連携として、地域交流の場となる「サロン」の立ち上げに関わる。社会福祉協議会主催で、「つるまき学校サロン」に毎回参加。高齢者と小学生、地域のボランティアが関わるサロンが定着化した。
- 5 介護支援専門員が1名増員となり、新規事業を行いながらも給付件数は昨年比109件増となった。窓口での特養ホーム申請業務については、1年先延ばしとなった。

【利用者支援状況】

- 1 虐待通報に3件関わるが、新宿区の「高齢者虐待通報マニュアル」に沿い、即訪問、状況確認、各関係機関への連絡・連携を行い、介入し、その後も見守りを継続している。
- 2 成年後見制度の普及が広がってきたせいか、相談件数は増えてきている。独居高齢者の有料老人ホーム入所の際には首長申し立に申し立を行い、確定するまで、何度も訪問、入所後も他区へ訪問し、転居後の郵便物の管理もおこなった。
- 3 包括的・継続的ケアマネジメントとしてのケアマネ支援の件数も着実に増えている。その内容として、近隣に一人ケアマネージャーの事業所が多いこと、家族の問題があるための同行訪問、独居世帯が多いためキーパーソン不在のケースがあげられる。
- 4 独居と高齢者世帯が半数を超える新宿であるため、遠方に住む家族からの時間外に緊急対応の依頼が多かったが、可能な範囲で対応した。(夜間の救急対応の手配、ガス漏れ警報機の確認等)
- 5 2号被保険者を含め、末期癌の相談も多くなった。最期を自宅で過ごしたいと希望する方が多くなり、在宅医療も整備・普及されてきたためと思われる。介護保険以外のサービス利用や、その当事者をとりまくネットワーク作り等を行った。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
エアコン	167		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	

第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
事務所改修工事	670	事務所改修工事	1500
カラー複合機購入	897	カラー複合機購入	56

利用者状況推移(各年度延人数)

年度	相談件数				介護予防プラン作成			対象者年齢別内訳					
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業	~64	~74	~84	~94	95~	不明
					要支援1	要支援2							
平成19年度	86	3388	416	471	676	631	43	102	808	2378	1134	415	0
平成20年度	41	1711	236	236	768	749	122	25	512	1112	539	35	0
平成21年度	69	1852	170	278	850	776	97	43	381	977	572	55	60

(注) 相談件数は重複あり。

(6) 認知症対応型老人共同生活援助事業

認知症の状態にあるために日常生活を営むのに支障がある方が、家庭的な環境の下で、精神的に安定して健康で明るい生活を送れるよう食事の提供等日常生活上の援助を行い、認知症老人の福祉の増進を図りました。

かえで 定員9名

稼働率 95.4% 平均年齢 86.8歳(最高96歳 最低80歳) 男女比率 1:9
平均在所期間 3.7年(最長6.8年)

年間入所 3名 主な入所理由(在宅生活困難)
年間退所 2名 主な退所理由(他施設(特養)への入所)

【施設運営状況】

- 前年度3月末に1名の退所(他施設)があり、入所調整に若干の期間を要し、新たな入所が5月上旬となりました。その後、9月~10月、2月と計3名の入退所があり、年間通じての入所率は95.4%で前年度比約4%減となっています。
- 第三者評価は、7度目(開設後毎年)を受審し、利用者、家族の総合的な感想では概ね高い評価をいただくことができました。また、今年度から介護サービス情報公表制度に基づくサービス情報の公開を行い、より幅広い施設の開示に努めました。
- 今年度より、市町村職員、地域代表の方々に対し、提供サービスの報告等を行う運営推進会議を年3回開催し、サービスの質の確保に努めました。
- 積極的な研修参加に努め、習得した知識・技術の内部還元を行いました。

【利用者支援状況】

- 年間を通じ、3名の入退所がありましたが、特に大きな事故もなく、全般的に安定した1年を過ごすことができました。
- 日常的な散歩や体操はもとより、食材配達サービスを夕食のみとすることにより、利用者とともに近隣商店へ買い物に行く機会を増やし、健康維持と地域交流の充実を図りました。
- 月1回程度の外食、季節に応じた外出行事、納涼祭等郷内行事への参加、隣接保育所行事への参加等できる限り変化と刺激のある生活を送っていただけるような対応を行いました。

4 従来のミュージック、傾聴、大正琴演奏、ビオラ演奏ボランティアの訪問を継続しつつ、今年度は新たに奇術、踊りのボランティアの導入を図るとともに、個人のボランティアも増加し、豊かな日中活動を提供することができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
スプリンクラー設置工事	4200	(設計等に不足の日時を要し翌年度に繰越)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
女性	7	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	94
合計	8	9	9	9	9	8	9	9	9	9	9	9	106

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	要介護度別内訳						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成19年度	9	0	0	2	5	2	0	0
平成20年度	9	0	0	0	7	2	0	0
平成21年度	8	0	0	1	3	4	1	0

(7) 居宅介護支援事業所

介護保険法に規定する居宅要介護者が、指定居宅サービス等の適切な利用ができるよう、当該居宅要介護者等の依頼を受けて、居宅サービス計画を作成するとともに、指定居宅サービス等の提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者等との連携調整その他の便宜の提供及び介護保険施設への紹介等の便宜を提供しました。

ア フジホーム
 イ 原町ホーム
 ウ ゆたか苑
 エ ひかり苑

昭島市中神町1206
 新宿区原町3-8
 豊島区长崎2-26-4
 東村山市富士見町2-7-40

3 障害者支援系施設の経営

知的障害者更生施設、授産施設、救護施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 平成 21 年度政権交代により「障害者自立支援法」廃案の方向が出されたが次の方向は示されなく改正案に止まっている中で新法移行を進め、東村山生活実習所が移行しました。
- 2 収入とされる報酬単価は厳しい状況にありましたが利用率を上げる努力を行いながら安定した経営が出来ました。
- 3 利用者サービスでは、各施設とも個別支援計画のもと利用者へのサービスをマネジメントし、利用者の満足度は高く第三者評価にて良い結果となりました。
- 4 人材育成に於いては、計画的に新任・中堅職員を含めビジネスマナー・専門性(発達障害・累犯障害者等)の研修や資格取得を推進し、また、施設間の人事交流を行い職員の育成とグループ強化にもなりました。
- 5 さやま園ショートステイで男子利用者、10 月より受け入れました。
- 6 東村山生活実習所の改築工事完了しました。

(1) 知的障害者更生施設

18 歳以上の知的障害者の方へ入所または通所により、これを保護し、その更生に必要な指導及び訓練を行いました。

ア さやま園 定員 100 名(女性) 短期保護 5 名

稼働率 100.1% (短期保護 56.5%) 入所平均年齢 41.3 歳(最高 65 歳 最低 18 歳)
平均在所期間 17.7 年(最長 44.5 年)
年間入所 16 名 主な入所理由(地域生活の困難)
年間退所 16 名 主な退所理由(地域・就労移行の為、グループホーム等での生活開始)

【施設運営状況】

- 1 施設利用状況は、目標の数値をクリアし、100%以上の利用は確保した。利用待機者も存在する。
- 2 東村山福祉ネットワーク等の地域福祉ネットワークに参加して地域との連携を図るとともに、情報交換などを行った。
- 3 第三者評価は、おおむね好評価を受けた。利用者からは、自立に向けて意欲的な意見が出された。また職員からは、人材育成の急務を多く指摘された。
- 4 恒例のさやま園祭は、多くの地域からの入場者を数え、地域密着の祭りとしての意義を改めて示した。そのほか、多くのボランティアが通年訪れ、利用者とのかかわりを深める交流を行った。

【利用者支援状況】

- 1 グループホーム「それいゆ小川」を立ち上げた。利用者 6 名 世話人 2 名 夜間スタッフ 2 名を配置し、夜間管理の強化に努めた。
- 2 短期入所事業の男性利用を開始し、本年度は 6 名の利用があった。利用に関しては、予想されたような混乱はなく、おおむねスムーズな事業開始となった。
- 3 新法移行に備え、プロジェクトチームを立ち上げ、それぞれ利用者支援の課題や経営にかかわる収入源確保について検討した。
- 4 高齢化に伴い、エンジョイプロジェクトを立ち上げて、食の面、暮らしの面から高齢化対策を検討した。利用者の半数が 50 歳代以上という現状は、今後の大きな課題で

ある。

5 今年度は、卒園者 12 名、そのうち 9 名が一般企業に就労した。また、新規に企業就労した利用者は 2 名である。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
居室床改修工事	1500	支援ソフトウェアバージョンアップ	997
利用者トイレ改修工事	800	パソコン 3 台	710
パソコン 3 台	600		
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
居室畳表替え	900		
支援ソフトウェアバージョンアップ	1000		
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	
第 4 期（1～3 月）		第 4 期（1～3 月）	
		居室床改修工事	1184
		居室畳表替え	747

年間利用状況（各月月末人員）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
女性	102	101	104	100	100	100	101	98	99	99	99	100	1203
合計	102	101	104	100	100	100	101	98	99	99	99	100	1203

利用者状況推移（各年度 3 月 1 日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～
平成 19 年度	100	6	20	11	2	11	3	2	10	35
平成 20 年度	102	4	24	12	2	8	5	2	10	35
平成 21 年度	100	2	21	15	5	5	5	3	8	36

イ 小茂根福祉園 通所定員 30 名

稼働率 102.9% 平均年齢 27.9 歳(最高 44 歳 最低 19 歳)

平均通所期間 6.2 年(最長 24 年)

年間入所 4 名 主な入所理由(特別支援学校卒業後)

年間退所 1 名 主な退所理由(入所施設利用)

【施設運営状況】

1 利用者本位のサービスを基軸とし、利用者の地域でのチャレンジを応援するための事業運営を行ってきました。概ね、計画通りに実行でき、利用者の満足度も高まりました。

2 個別支援に重点を置き、利用者面談、家族面談、家庭訪問、家族懇談会を行い、利用者ニーズや家族の直面している問題に積極的に取り組んできました。

3 地域活動として地域行事への参加のほか、ボランティア活動やエコ活動を取り入れることにより地域へ発信してきました。ボランティアをしてもらっただけでなく、利用者自身も「人のために役に立つ」という体験により利用者自身の意識の向上につながりました。

4 自主生産品の品質の向上と売れる製品作り、地域への施設アピールを目的とし、商品アドバイザーを入れました。見せ方、表現方法など参考になる点が多く、秋まつりも好評でした。

5 板橋区が行った指定管理者のモニタリング・評価で A 評価をいただきました。法人研修や障害グループでの研修に積極的に参加し、人材の育成に努めました。

【利用者支援状況】

1 地域特性上、当施設利用を希望する方が多く、今年度より定員を超える 32 名の在籍となりました。区立福祉園でありながらも 100%を超える利用率となりました。来年度も増加する予定です。

2 日中活動プログラムを全体的に見直し、利用者が自ら選び、チャレンジしていけるプログラム作りを行いました。その中で、クラブ活動や、ミュージックセラピーを導入し、活気のある活動ができました。

3 また、更生利用者の課題である身体機能低下防止のため、日々のリハビリ訓練を重視し、PT による個々の評価とプログラムを作成し、日中活動の中に取り入れました。

4 日中活動の参観週間を設け、家族に実際の様子を見ていただくことで、関心を持っていただき、利用者支援における意思疎通を図りました。そのような取り組みの中で、家族の方による手芸講師やバザー販売の手伝いなど積極的な協力を得ることにつながりました。

5 新型インフルエンザの影響により、宿泊旅行直前に罹患者が出たため、止むを得ず中止とし、別途、日帰りのおたのしみ外出を企画・実施しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
活動用リヤカー購入	140	陶芸釜修理、物置設置	519
空調機整備	340	エアコン設置	64
イベント用音響装置	250	音楽療法用楽器購入	129
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
様式便器設置 3 台	300	自転車置き場改修	577
屋外掲示板設置	450	フローリング改修	394
		物置、エアコン設置	460
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	
非常階段塗装	100		
駐輪場屋根設置	750		
第 4 期（1～3 月）		第 4 期（1～3 月）	
		相談室、医務室改修工事	1514
		屋外掲示板設置、音響設備	497
		利用者ロッカー設置他整備	630

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	356	322	388	312	341	328	355	327	334	319	325	357	4064
女性	290	265	317	232	263	270	293	251	267	266	251	288	3253
合計	646	587	705	544	604	598	648	578	601	585	576	645	7317

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成19年度	27	2	5	9	5	4	2		
平成20年度	29	2	7	7	6	4	3		
平成21年度	32	3	9	7	7	4	2		

ウ 東村山生活実習所 通所定員 32 名

稼働率 93.5% 平均年齢 41.2 歳(最高 64 歳 最低 20 歳)

平均通所期間 3.0 年(最長 4 年)

年間入所 6 名 主な入所理由(他通所施設から異動、 新事業利用)

年間退所 1 名 主な退所理由(入所施設利用のため)

【施設運営状況】

- 1 仮設施設にてサービス提供を実施し、同時に立替え工事の推移を見守りながらこの1年を過ごしてきた。12月には、施設が完成し、備品等を搬入。2月から新施設を使用しはじめる。
- 2 稼働率は前年度よりややアップする。3月には新規事業の就労継続支援が始まり、新たに5名の方が利用し始める。退所は、年度末に1名あった。
- 3 3月には、障害者自立支援法にそった事業を開始し、就労継続支援B型、生活介護、短期入所の3事業になり、それぞれ順次事業を開始しはじめた。
- 4 建替え事業に伴い、地域の方々にも工事のことや新たな事業について話す機会を多く持った。そのため、地域の福祉団体やその他障害関連の方々ともつながりを持つことができ事業展開をしていく上でいい下地作りができた。

【利用者支援状況】

- 1 ボランティアについては、定期的に創作活動に来ていただいている方、そして、行事等に地域の社会福祉協議会などからきていただいている方など定着している。さらなる協力者の確保に努めたい。
- 2 心身に重度の障害をもっている方々が通所するところであり、その介護技術や支援技術など質の向上をめざしてきた。自閉症のことやトランスファーのことなどまだまだ知識として不足しているためさらなる研修は必要であると感じた。
- 3 新施設になり利用者の造形活動では少しずつ作品として形が作られてきた。仮設施設ではなかなかスペースの関係上、できなかった園芸やその他の創作活動についても2月から3月にかけて充実してきた。
- 4 利用者の家族の介護状況が少しずつ難しくなってきた。今年度は、2名の方が1ヶ月から6ヶ月あまり他施設へ短期入所をしている。年度末には1名の方が入所施設を利用することになった。こういう状況を踏まえ関係行政、地域の福祉サービスの方々や蜜に連携をとり利用者支援のネットワークづくりを始めている。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
改築工事	217503		
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
初度備品	20915	新園舎改築工事	248236
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		初度備品	15225

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	303	236	315	312	299	253	294	264	275	286	275	372	3484
女性	211	180	227	232	232	215	235	189	205	215	205	279	2625
合計	514	416	542	544	531	468	529	453	480	501	480	651	6109

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成19年度	27	0	3	1	5	4	8	4	2
平成20年度	27	0	3	1	3	6	7	6	1
平成21年度	32	3	3	7	2	5	4	3	5

(2) 知的障害者授産施設（通所）

18歳以上の知的障害者であって、雇用されることの困難な方へ、通所により必要な訓練や仕事を用意し、自立生活を援助しました。

ア 小茂根福祉園 通所定員 30名

稼働率 80.2% 平均年齢 36.3歳（最高 58歳 最低 19歳）

平均通所期間 12.9年（最長 26年）

年間入所 2名 主な入所理由（特別支援学校卒業後）

年間退所 0名 主な退所理由

【施設運営状況】

1 利用者本位のサービスを基軸とし、利用者の地域でのチャレンジを応援するための事業運営を行ってきました。概ね、計画通りに実行でき、利用者の満足度も高まりました。

2 個別支援に重点を置き、利用者面談、家族面談、家庭訪問、家族懇談会を行い、利用者ニーズや家族の直面している問題に積極的に取り組んできました。

3 地域活動として地域行事への参加のほか、ボランティア活動やエコ活動を取り入れることにより地域へ発信してきました。ボランティアをしてもらうだけでなく、利用者自身も「人のために役に立つ」という体験により利用者自身の意識の向上につながりました。

4 自主生産品の品質の向上と売れる製品作り、地域への施設アピールを目的とし、商品アドバイザーを入れました。見せ方、表現方法など参考になる点が多く、秋まつりも好評でした。

5 板橋区が行った指定管理者のモニタリング・評価で A 評価をいただきました。法人研修や障害グループでの研修に積極的に参加し、人材の育成に努めました。

【利用者支援状況】

1 昨年度に比べて、12%の利用率アップとなりました。区立福祉園であるため、区の意向に沿って受け入れ態勢を整えていきます。

2 昨年度まで工賃増を果たしてきましたが、経済不況の影響により、受注作業が減少し 10%の工賃減となってしまいました。一方、地域のパン屋と業務委託契約を結び、フルで働くことに不安のある 2 名の利用者に対して短時間での就労体験ができるようになり工賃増になりました。

3 今年度は、生活支援に重点を置き、個々に合った自立に向けての支援を行いました。調理実習や自活宿泊を改善し、また本人（当事者）活動を取り入れ、自分の思いや考えを表現できるよう支援しました。

4 余暇支援として、クラブ活動及び登園日以外の支援として土曜チャレンジを企画し、希望者に対して余暇支援プログラムを提供し好評でした。

5 作業ボランティアが定着し、ボランティア自身のやりがいにつながっています。また、今年度より、利用者自身もボランティア活動を開始しました。ゆたか苑でのガラス拭きを行う中で、「人の役に立つ」ことへの喜びを感じられるようになればと考えています。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
活動用リヤカー購入	140	陶芸釜修理、物置設置	519
空調機整備	340		
イベント用音響装置	250		
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
様式便器設置 3 台	300	自転車置き場改修	577
屋外掲示板設置	450	フローリング改修	394
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	
非常階段塗装	100		
駐輪場屋根設置	750		
第 4 期（1～3 月）		第 4 期（1～3 月）	
真空包装機	450	相談室、医務室改修工事	350
焙煎機	800	パソコン購入、音響設備	272
		焙煎機、さおり織機購入	344

年間利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	293	263	319	388	266	265	301	271	276	260	267	309	3478
女性	219	189	225	318	184	188	213	189	180	188	199	217	2509
合計	512	452	544	706	450	453	514	460	456	448	466	526	5987

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成19年度	27	4	3	2	1	2	7	4	4
平成20年度	27	1	7	2	1	1	6	5	4
平成21年度	29	2	7	2	3	1	6	3	5

イ 立川福祉作業所 通所定員 75名

稼働率 89.9% 平均年齢 36.0歳（最高 63歳 最低 19歳）
平均通所期間 15年（最長 40年）

年間入所 4名 主な入所理由（養護学校卒業後の進路）
年間退所 5名 主な退所理由（企業への就職、他施設への入所）

【施設運営状況】

- 1 年度当初より定員を3名の増員を行い弾力運営に努めてきたが、目標利用率を超えることは、難しい結果となりました。
- 2 授産活動においては、不況の厳しい状況であったが、新規受注先の開拓や効率的に生産アップできるシステム等を取り入れた結果、現状を維持できました。
- 3 製パン事業は、技術の向上と豊かな発想によりクオリティーの高い製品となり、店舗販売・出店販売でも業績を上げることができました。
- 4 移譲時よりの計画であったケアホームを開設し、利用者が地域で暮らすことが実現できた。自立支援法移行への準備として、障害区分判定も78%が完了し来年度に反映します。
- 5 地域との係わりは、自立支援協議会への参加、また自治会との合同消防訓練への参加でき協力関係を結ぶことができました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の弾力受け入れを行いながら運営してきましたが、企業への就職等で年度途中での退所となる利用者もあり、目標の利用率には達成できなかったが、利用者サービスは十分果たした。
- 2 利用者の就労支援においては、一般企業への就職・アフターフォローによる就労定着等の自立への支援が出来ました。
- 3 利用者が地域の中で安心して暮らせるように、ケアホームを開設し支援を受けながら充実した生活が出来るようになりました。
- 4 自立支援法移行への準備も踏まえ、利用者・保護者・関係諸機関と連携し利用者ニーズへ応えながら取り組むことが出来ました。
- 5 利用者が楽しく生活の励みとなるように、余暇支援の充実を図りまた、生活環境への改善（トイレ・厨房改修）を行ってきました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
製パン用ミキサー	860		
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
軽自動車	1500	軽自動車アトレーワゴン	2080

第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
食堂テーブル、椅子	2750	製パン消毒保管庫、ひさし工事	797
		食堂テーブル、椅子	1504

年間利用状況(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1000	926	1046	1050	875	948	972	858	883	862	876	1016	11312
女性	599	520	613	623	558	571	603	575	556	542	503	561	6824
合計	1599	1446	1659	1673	1433	1519	1575	1433	1439	1404	1379	1577	18136

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~
平成19年度	72	6	10	6	12	6	8	14	10
平成20年度	74	7	14	6	11	4	8	13	11
平成21年度	74	5	15	8	11	4	8	11	12

(3) 救護施設

身体上または精神上著しい障害があるために、独立して日常生活の用を弁ずることのできない要保護者の方に生活扶助を行いました。

昭島荘 定員 100名

稼働率 101.2% 平均年齢 66.0歳(最高 86歳 最低 38歳) 男女比率 51:49
 平均在所期間 18.0年(最長 50.0年)
 手帳保持者 92名(愛の手帳 27名、身障手帳 30名、左記両手帳 8名、
 精神障害保健手帳 43名)
 年間入所 5名 主な入所理由(病院退院後)
 年間退所 5名 主な退所理由(死亡、長期入院)

【施設運営状況】

- 1 多様な障害者を幅広く受入セフテイネットの機能を果たした。
- 2 支援全般にわたる重点項目と介護上の重点目標を支援計画に反映した。
- 3 支援ソフトの実質的な活用により、事務処理・情報の共有化が図られた。
- 4 職員の資質向上のために全国救護部会研究会において研究発表を行ったり、障害状況の知識向上のため専門的研修に参加した。
- 5 第三者評価事業受審によりより質の高いサービスを行うよう心がけた。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の平均年齢は66歳。在園期間も平均18年と長期高齢化が進行している。特に近年介護認定された利用者や常時介護を要する利用者が増加している。
- 2 利用者の半数は精神疾患や重複障害、高次脳機能障害などであるが今後も増加傾向にある。
- 3 クラブ活動や日帰り旅行等の諸行事をボランティアの協力により実施した。
- 4 園内行事や外出の機会を設け、可能な利用者の関しては家族交流に努めた。

5 リサイクル作業班を通じ地域に貢献する活動を行った。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
作業棟新築工事	27000	作業棟新築工事	22000
作業テーブル他購入	630	作業室蛍光灯修理	598
作業室蛍光灯修理	1000		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
2階出入り口改修工事	998	2階出入り口改修工事	997
喫煙室集塵脱臭機取付	630	喫煙室集塵脱臭機取付	315
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
クラブハウス南床改修工事	700	クラブハウス南床改修工事	180
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	51	52	623
女性	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	588
合計	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	100	101	1211

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳								
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~	~19
平成19年度	101	0	0	0	0	1	1	1	98	0
平成20年度	101	0	0	0	0	2	1	1	97	0
平成21年度	101	0	0	0	0	1	1	2	96	0

(4) 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長し、合わせて緊急一時保護も行いました。

さくらんぼ

長期自立支援事業 利用実人員 4名(年間延 24名)
 平均年齢 36.0歳(最高 64歳 最低 20歳) 男女比率 3:1
 平均在所期間 638日(最長 2年 最短 547日)

短期間の自立支援事業 利用実人員 78名(年間延 296名)
 平均年齢 35.7歳(最高 64歳 最低 19歳) 男女比率 40.:38
 平均在所期間 9.9日(最長 32日 最短 1日)

緊急一時保護事業 利用実人員 34 名（年間延 75 名）
 平均年齢 36.0 歳（最高 64 歳 最低 21 歳） 男女比率 21：13
 平均在所期間 26 日（最長 290 日 最短 1 日）

レスパイト 利用実人員 44 名（年間延 89 名）
 平均年齢 35.0 歳（最高 61 歳 最低 19 歳） 男女比率 25：19
 平均在所期間 2 日（最長 5 日 最短 1 日）

移動支援事業 利用実人員 97 名（年間延 163 名）
 平均年齢 46.7 歳（最高 69 歳 最低 24 歳） 男女比率 10：13

【施設運営状況】

- 1 指定管理最終年度として、来年度につながるよう事業内容の再確認、体制の見直しを行いました。また、さくらんぼの今後の在り方について区と協議を始めました。
- 2 豊島区の独自施設として、家族関係の調整も含めた利用者の受け入れや、地域移行を進めるため、長期自立援護指導利用者を積極的にグループホームへ移行しました。
- 3 人事考課における職員の取り組みが職員の育成、職員間の連携、業務の改善に繋がりました。そのことが、利用者満足度調査、第三者評価ともに、利用者、家族から高い評価を受けました。
- 4 さくらんぼの基本事業だけでなく、移動支援事業所の運営、グループホーム3か所の運営、独り暮らし支援事業、集会室の管理等豊島区の地域生活を支える事業を展開いたしました。
- 5 年度当初の緊急利用者の増加により、短期自立訓練の利用制限と、22年度大規模修繕に向けた長期自立援護指導利用者の利用制限により、利用者は減少しました。

【利用者支援状況】

- 1 24 時間、365 日緊急利用できる施設として、利用者の受け入れを行いました。利用期間は区と柔軟に対応し、利用者が安心して過ごすことを第一に支援しました。
- 2 長期自立援護指導 3 年目を迎えた利用者には、今後の生活の場としてグループホームへの移行を実施しました。その後の生活安定のために引き継ぎ、連絡、訪問といったバックアップを実施し、安定した生活を送れるよう支援しました。
- 3 短期自立訓練の利用者には個別支援計画に基づき、家族と離れた場所でのそれぞれの自立を目的に支援しました。特に看護師対応が必要な利用者には、日中活動の施設との情報交換や利用者情報の共有化、整理をすすめ、安心した利用に繋がりました。
- 4 よりみちの会として実施している就労者、地域での独り暮らしの方向けの日帰り旅行等の行事への参加が多く、障害者の交流の場、余暇活動の支援として定着してきました。
- 5 独り暮らしの方への食事、入浴サービスや、生活相談等を実施してきましたが、利用者増加に向けて、周知方法などが今後の課題となりました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
ナースコール設置	3959		
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	

		ナースコール設置	2076
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		門扉取替工事	570

利用者状況推移(各年度延人員)

年度	利 用 人 員								年 齢 別 内 訳						
	親なき後対策		緊急一時保護		短期自立訓練		レスパイト		~19	~29	~39	~49	~59	~64	65~
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員							
平成19年度	7	41	52	105	73	349	47	81	2	27	46	17	12	2	1
平成20年度	4	48	39	66	78	313	35	75	3	24	43	14	4	5	1
平成21年度	4	24	34	75	78	296	44	89	2	26	35	22	4	9	0

居宅介護等事業 利用状況	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
	160人	275人	142人	232人	97人	163人

(5) 身体障害者福祉センターB型

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図りました。

さいわい福祉センター

自立支援事業	地域活動支援センター 平均年齢19.8歳 (最高21歳 最低19歳) 男女比率7:1	就労移行・生活介護 平均年齢26歳 (最高51歳 最低20歳) 男女比率9:4
	身障機能回復訓練 平均年齢39.5歳 (最高63歳 最低18歳) 男女比率8:2	
介護支援事業	都型ショートステイ (最高63歳 最低12歳) 男女比率5:5	日中一時支援 (最高63歳 最低3歳) 男女比率6:4
	入浴サービス 平均年齢29.4歳 (最高51歳 最低19歳) 男女比率5:6	
居宅生活支援事業	移動支援事業 平均年齢38.5歳 (最高82歳 最低10歳) 男女比率3:7	居宅介護事業 平均年齢45.5歳 (最高60歳 最低37歳) 男女比率5:5

障害者地域自立生活支援事業

相談内容	福祉サービスの利用支援	83	利用者内訳	
	就労	334	身体障害	24
	日常生活	15	知的障害	407
	障害、医療、健康	20	その他	67
	その他	39		
	計	491	計	498

【施設運営状況】

- 1 障害者自立支援法による事業移行（就労移行・生活介護・地域活動支援センター）2年目を迎え、安定した運営ができました。インフルエンザ対策についても、衛生管理の徹底とマニュアルに基づく対策を講じて、感染予防に努めました。
- 2 就労支援センター設置の準備に向けて、近隣市の支援センターや特別支援学校との連携や企業との信頼関係を結ぶことが出来、就労支援の機関として周知され、定着支援や相談支援の実績を上げることができました。
- 3 経年劣化による設備機器の修理や改修工事が頻繁になりましたが、東久留米市との円滑な協議により、迅速に対応することができました。今後も劣化による故障等が予測されるので、出来る限り計画的に修繕等を進めていきます。
- 4 地域との連携では、介護講座の開催や講演会の共同開催などを実施し、また、東久留米市と災害時の二次避難所としての協定を結び、センター機能を地域に提供できるように努めました。
- 5 職員育成として、法人内の研修や障害グループ研修に参加し、また、他施設との人事交流による職員研修をおこないました。

【利用者支援状況】

- 1 各事業の運営目標と個別支援計画に沿って支援し、就労移行支援では、積極的に企業説明会等に参加したり社会人としてのマナー研修を行うなど就労意欲の向上をはかり、数名企業就労につなげました。
- 2 自立訓練での作業収入を工賃支給し、センター内の活動と外出時の社会体験（買い物等）と連動した支援を行うとともに、作品販売等に参加し、外部との交流の幅を広げる活動を積極的に行いました。
- 3 相談支援では、電話や来所による相談件数が多く、特に就労に関する相談は、職場訪問や定着支援などによる支援が多くなりました。相談内容も多岐にわたり関係機関とのネットワークや職員の相談スキルの向上が強く求められるようになりました。
- 4 施設貸出事業では、ホールと談話室の騒音防止のために、談話室入口に間仕切りドアを新設しました。また、給湯室及び車いす用洗面台の新設、控室の改修工事など、快適に施設利用していただけるように環境整備を行いました。
- 5 サービスの向上に向けてボランティア（美容師）による職員向け洗髪研修や、パソコンボランティアの導入など地域の方の協力を得る内容を広げました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
調理室椅子購入	600	2階給湯室改修工事	1382
機能訓練用台	500	2階各室防災カーテン	473
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
訓練用パソコン2台	500		
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
玄関・事務室改修工事	950	冷温水発生器燃焼部修理	473
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
空調設備改修工事（市と協議）		談話室間仕切設置他工事	982

		温水真空ボイラー交換工事	3150
		テレビ、パソコン購入	488

利用者状況推移（各年度延人員）

年 度	自立支援事業				介護支援事業			
	知的訓練		身障機能		ショート・緊急		入浴	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成 19 年度	12	2052	21	604	140	2023	11	420
平成 20 年度	18	3135	22	532	79	2253	7	205
平成 21 年度	8	1782	20	541	65	2082	11	367

年 度	居宅生活支援事業				育成事業			
	生活介護/就労移行		ヘルパー		グループ育成		講座・講習	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成 19 年度	5	1,197	27	1335	133	1,387	95	1137
平成 20 年度	5	1060	21	1222	119	1318	62	1016
平成 21 年度	13	2108	29	1144	128	1234	78	1100

(6) 共同生活介護（ケアホーム）・共同生活援助（グループホーム）

障害者自立支援法第 5 条第 10 項に定める共同生活介護及び第 16 項に定める共同生活援助事業を利用する障害者に共同生活を営む生活の場を提供し、共同生活介護においては、入浴・排泄または食事の介護等を行いました。

共同生活援助においては、相談その他日常生活の援助を行い、自立した生活を営めるよう支援しました。

ア アミニティ富士見

稼働率 93.2% 定員 28 名

【施設運営状況】

- 1 今年度、利用定員を 22 名→28 名に増員を図り、昨年度同様の稼働率をおおむね実現できた。
- 2 グループホームの専門スタッフを配置し、より世話人との関係を密に保った支援を行ってきた。
- 3 平成 21 年 7 月、小平市にさやま園としては 5 つ目となるグループホーム（それいゆ小川）を立ち上げた。また、初めて地域枠を定め、2 名の利用者を受け入れた。
- 4 それいゆ小川には宿泊型、グリーンハイツには巡回型の夜間スタッフを配置したことで、夜間支援体制加算を請求し、安定運営に努めた。
- 5 運営費の効率的な活用と、処遇改善交付金等補助金を積極的に活用し、運営の安定と現場職員の安定確保に努めた。

【利用者支援状況】

- 1 利用者が地域で主体的に生活ができるように、専任スタッフを配置し、個々人のニーズに応えられるような支援体制を作ってきた。

- 2 さやま園スタッフが中心となり、利用者支援、預かり金管理など世話人業務の見直しを図り、支援の充実を図ってきた。
- 3 さやま園スタッフ、世話人だけではなく、通所先福祉施設や就労先、地域の支援機関とも連携を図り、利用者の生活をトータルに支援してきた。
- 4 グループホームを離れ、一人暮らしをしてみたいという利用者に対しては、その実現に向け、世話人と連携をし、地域資源の活用を調整してきた。
- 5 さやま園卒園者だけではなく、地域のニーズに応える上で、新規グループホームに関しては、2名の地域枠を設け、安心した生活を提供するために、家族会を開くなどし、情報の公開と共有に努めた。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成19年度	22	0	1	3	4	4	4	2	4
平成20年度	22	0	0	4	3	5	4	2	4
平成21年度	28	0	1	9	3	4	3	3	5

イ レヂオンス巣鴨

稼働率 93.5% 定員 12名

【施設運営状況】

- 1 世話人、生活支援員を増配置し、管理者、サービス管理責任者とともに、バックアップ施設職員も協力して、利用者の生活支援を実施しました。
- 2 運営費の効率的な活用と、処遇改善交付金等補助金を積極的に活用し、運営の安定と現場職員の安定確保に努めました。
- 3 体験利用者の受け入れや、利用者の交替時には、スムーズな受け入れと、安定した生活の確保を重点的に行いました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の充実した生活を支援するため、グループホーム内での生活だけでなく、就労余暇活動、家族との交流等を積極的に進めました。
- 2 グループホーム利用者合同の旅行、地域ボランティアの導入や、地域で生活する障害者との交流の場など様々な人たちとの交流を行い、余暇活動の充実、生活の質の向上に努めました。
- 3 新規利用者は、新しい生活に慣れるよう世話人、バックアップ施設、通所先と連携し重点的に支援しました。
- 4 急な世話人の交替により、利用者が不安定にならないようバックアップ施設の職員による支援を充実させました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成19年度	12	0	0	0	0	2	2	1	7
平成20年度	12	0	0	0	1	1	1	1	8
平成21年度	11	0	0	0	0	1	2	1	7

ウ 夢オハナ

稼働率 100% 定員 6 名

【施設運営状況】

- 1 今年度開設 1 年目で運営費の効率的な活用を検討しながら安定した運営を行うことができた。
- 2 サービス管理責任者・管理者・生活支援員・世話人の適切な配置を行いながら日々の生活の向上や利用者サービスそして業務内容の振り返りを行いながら取り組むことができた。
- 3 立川福祉作業所（バックアップ施設）と連携をとりながら個別支援計画の作成や利用者支援の向上に繋げる事ができた。
- 4 夜間の宿直体制及び全室スプリンクラーの設置や防火扉など安心・安全の確保に努めることができた。
- 5 運営費の効率的な活用と、処遇改善交付金等補助金を積極的に活用し、運営の安定と現場職員の安定確保に努めた。

【利用者支援状況】

- 1 利用者が住まいの場として仲間と安全に安心して生活が送れるように通勤支援等バックアップ施設と連携を密にしながら行った。
- 2 利用者が主体性を尊重して日常の会話の中から豊かな生活を送れるように休日等の過ごし方ではそれぞれ趣味嗜好（手芸教室・ダンス等）を相談しながら取り組むことができた。
- 3 日常生活の中から心身の状態の把握に努め、健康で生活がおくることで疾病などで休調を崩す利用者もなく通勤・通所が行えた。
- 4 余暇支援の一環として行事は、日帰り旅行・一泊旅行・映画鑑賞など余暇支援の充実を行った。

利用者状況推移（各年度 3 月 1 日現在）

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成 19 年度	0								
平成 20 年度	0								
平成 21 年度	6		2	1		1	1		1

4 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設を経営しました。

【グループ総括】

- 1 双葉園ではグループホームが開所し、地域の小規模施設として順調に地域に定着しつつあります。いこいの家では中神のアパートを借り上げて、地域移行のためのステップハウスを開始しました。
- 2 サンライズ世田谷が今年度6月末をもって施設閉鎖され、開設以来68年の歴史に幕を下ろしました。関係機関と十分に連携をとり、利用者がスムーズに退所することができました。
- 3 サンライズ武蔵野が念願であった施設の全面改築（むさしの保育園と合築）が決定し、改築に向けて検討が進められています。
- 4 グループ全体で生きづらさを持つ方への支援力向上を目標に、「発達障がいのある子への支援」「パーソナリティが未熟な人々とどうかかわるか」をテーマに合同研修を行いました。
- 5 グループ全体で人材育成の根幹である職員の個別育成計画を作成しました。今後はより具体的に職員個人個人の育成に取り組んでいきます。
- 6 グループ内施設間交流の他に今年度も、他グループ（障がい支援系）の施設間交流研修を実施し、他施設のノウハウを学ぶことで、職員の対応力の向上を図りました。
- 7 福祉サービス研究発表に向けて、プロジェクトチームを立ち上げ、グループの共通課題である精神的な課題を持つ利用者に対するサービスの向上に取り組んできました。

(1) 母子生活支援施設

配偶者のない女性、またはこれに準ずる事情にある女性とその方が監護すべき児童を、保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援し、退所後においては相談等の援助を行いました。

ア サンライズ武蔵野 定員 20 世帯

稼働率 86.8%
平均在所期間 1.5年(最長 3.25年)
年間入所 6世帯(14名)
年間退所 8世帯(20名) 主な退所先 民間アパート

【施設運営状況】

- 1 年間の入所世帯6世帯、退所世帯8世帯、年間利用率は86.8%で、昨年度の89.5%を2.7%下回りました。平成21年度中の退所世帯の平均利用期間は1年7か月でした。
- 2 施設改築に向け、内容検討（施設内、法人内、設計業者）を行いました。利用者に施設改築を予定していることを説明しました。現地改築のため、工事期間中に定員を現在の半分にする必要があり、杉並区、福祉事務所へ説明し、協力を依頼しました。
- 3 昨年度の第三者評価受審結果から設定した課題に取り組み、今年度は改善しているとの評価を受けました。財務状況についても利用者へ公開しました。
- 4 杉並区要保護児童等対策地域協議会、和田青少年育成委員会への参加、町会との合同防災訓練を通して、地域の方々と交流を図りました。予定していた地域交流行事のバザー、もちつき会は新型インフルエンザが発生したため、中止としました。
- 5 法人内、グループ内、施設内（発達障害）研修、全母協、東社協部会、関係機関主

催の研修等に積極的に参加し、職員の資質の向上と利用者支援向上に努めました。基幹的職員研修に主任が参加しました。

【利用者支援状況】

- 1 母子再統合の世帯への支援、精神疾患のある利用者や外国籍の利用者の退所支援・アフターケア、不登校児の登校支援、外国籍の世帯の生活支援、高齢児の母子関係調整等多岐にわたる支援を行いました。
- 2 自立支援計画について、より利用者主体の計画書として作成するために質問紙を作成しました。事前に利用者に記入してもらい、面談前に利用者本人の的確な課題の把握に努め、利用者と一緒に計画を立てて、自立支援を行いました。
- 3 年度中に在籍した24世帯中11世帯がDV被害、子どもへの虐待の課題を抱えており、PTSD等への精神的ケアを心理担当職員や関係機関と連携を取りながら支援を行いました。
- 4 学童支援は学習支援・遊びの支援を中心にサークル活動、レクリエーション等を通して、健全育成に努めました。退所児童も含めた夏の学童キャンプを1泊で行い、利用児童との交流を図りました。
- 5 高校受験を控えた児童の個別学習支援のために、学習ボランティアを11月～3月まで活用しました。その他退所児童を含めた1泊学童キャンプやレクリエーション等でボランティア活用を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
4階屋上防水工事	2000	消火器交換36本	240
オープンレンジ2台・消火器交換35本	362		
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
ガス警報機交換23台	276	オープンレンジ2台	135
		ガス警報機交換23台	210
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		改築基本設計	809

年間利用状況(各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	17	17	18	19	19	18	18	17	17	17	17	16	210
児童数	26	26	27	28	29	28	28	26	26	26	26	25	321
合計	43	43	45	47	48	46	46	43	43	43	43	41	531

利用者状況推移(各年度3月31日現在)

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成19年度	6	10	16	14	19	33	20	49
平成20年度	5	8	13	12	17	29	17	42
平成21年度	3	9	12	13	18	31	16	43

イ サンライズ青山

定員 20 世帯（港区緊急一時保護 1 世帯）

稼働率 98.8%（緊急一時 98.1%）
 平均在所期間 2.8 年(最長 6.0 年)
 年間入所 9 世帯(27 名)
 年間退所 8 世帯(22 名) 主な退所先 都営住宅、民間アパート

【施設運営状況】

- 1 当年度は、DV 被害・被虐待児の母子世帯を含め 8 世帯 22 名の母子が自立生活へ移行でき、新規利用者の確保により稼働率は 98.8%と向上しました。
- 2 様々な課題を抱えた母と子が、心身ともに安心・安全な生活ができるよう施設の環境整備に努めました。これにより緊急一時保護の利用率も向上しました。
- 3 第三者サービス評価を受審し評価結果を公開するとともに、利用者主体・健全育成支援などサービスの質的向上に努めました。
- 4 関係諸機関や町会等との連絡連携を図り、地域での見守りによる利用者の安全確保へも繋がり、近隣住民や企業から多数の協力があり地域交流行事も盛大に実施できました。
- 5 人材育成とサービス向上のため各種の研修会参加、法人グループ内交換研修・他業種交流研修等を実施し、公開による職場内研修会をおこない職員の資質向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 就労支援への取り組みとして補助保育・未措置児保育を実施し、利用者の就労や子育て支援をおこない地域自立生活移行へ繋げました。
- 2 地域生活へ移行した退所後の世帯へ、アフターケアとして家庭訪問や電話相談等の支援及び退所世帯向けの茶話会行事を実施し、地域生活継続への支援をしました。
- 3 心理的ケアの必要な母と子へ、臨床心理士等の専門職員による面接やカウンセリングをおこない利用者母子の精神的安定に努めました。
- 4 実習生の複数受入れ及びボランティアの活用により、地域交流行事や季節行事のほか母子・学童・乳幼児それぞれを対象とした各種外出行事を実施しました。
- 5 緊急一時保護利用実態は、DV 被害者の逃避の受皿的役割を担うことがより求められ、利用者の安心・安全・安定に力点をおいた細やかな取り組みをしました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
110 番通報装置	800	110 番通報装置	693
擁壁改修工事	10000	支援ソフトサーバー交換	296
支援ソフトサーバー交換	250	擁壁改修工事	11145
第 2 期（7～9 月）		第 2 期（7～9 月）	
ベビーカー置場設置	300	エアコン設置、給湯器設置	440
エアコン設置	440		
給湯器設置	585		
第 3 期（10～12 月）		第 3 期（10～12 月）	
防災倉庫	450		

学童室防災カーテン設置	150		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
学童用運動マット	150	防災倉庫、学童用運動マット	801
事務所ドア修繕	400	防火扉改修	630
		1階収納改修、窓格子取付工事	1331

年間利用状況(各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	18	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	237
児童数	24	25	25	25	27	26	30	30	30	30	30	30	332
合計	42	45	45	45	47	45	50	50	50	50	50	50	569

利用者状況推移(各年度3月31日現在)

年 度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成19年度	7	12	19	13	19	32	20	51
平成20年度	7	9	16	13	17	30	20	46
平成21年度	6	7	13	14	23	37	20	50

ウ サンライズ万世 定員20世帯(子育て短期支援、昭島市緊急一時保護 各2世帯)

稼働率 96.1%(短期及び緊急一時21.4%)

平均在所期間1.7年(最長4.1年)

年間入所 8世帯(21名)

年間退所 9世帯(29名) 主な退所先 公営住宅・民間住宅他

【施設運営状況】

- 1 都営住宅等への退所が9世帯(昨年5世帯)あり、退所後思うように入所に結びつかず、5か月ほど18~19世帯と空きのある状態でした。年間稼働率は96.1%(前年度98.8%)でした。
- 2 第三者評価を受審したことにより職員が業務内容の振りかえりができ、サービスの見直しを図ることによって利用者サービスの向上を図ることが出来ました。
- 3 地域の中では昭和郷の中で合同行事である納涼会、自治会との懇談会、フェスティバル(バザー)に参加しました。施設単独では、子ども神輿(双葉園と合同)で昭和郷を回ったり、自治会の大運動会に参加しました。
- 4 職員個人の研修計画に基づいて人材育成に取り組んできましたが、今年度グループ全体で人材育成の根幹である職員の育成計画を作成しました。
- 5 地域の社会資源となるように、施設の集会室を開放したり地域の子どもを施設の行事(工作会・映画鑑賞会等)に参加させて地域に理解と協力を求めました。

【利用者支援状況】

- 1 個別サービスの充実を目標に、利用者の意思を尊重しながら市の母子自立支援員と連携を取りながら、自立支援計画に基づいてサービスの提供に努めました。
- 2 第三者評価を三年続けて同じ評価機関で行い、三年かけて見直したり新たに取り入れたサービスによって利用者から好評価を得られました。
- 3 心理面のケアを充実させるために、心理職員が月から土まで交代で勤務し、生活支援の中から心身の安定が図れるように支援しました。
- 4 地域へ理解を得たり、人との出会いや触れ合いを目的に、ボランティアを活用し施設の行事(リフレッシュ保育・フェスティバル、クリスマス会等)を充実させることが

出来ました。

5 玄関の安全管理（不審者対策）に不安を指摘されていましたが、今年度助成金の交付を受けて、「施設内出入管理装置（ドアホン・電気錠）」を設置し、最低限の安全・安心が確保できました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
幼児トイレ改修工事	400	居室内整備	74
玄関オートロック施錠整備	500		
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		1階幼児トイレ改修他工事	721
		利用者貸出備品他購入	464
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
		居室内整備、出入管理装置設備工事	468
		洗濯機、パソコン購入	170
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
折りたたみ式リヤカー	180	居室内整備	115
防災用炊き出し器具	170	リヤカー、炊き出し器具購入	273

年間利用状況（各月月末人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	20	20	20	18	18	18	19	19	20	20	20	20	232
児童数	35	35	35	28	28	29	32	30	32	30	30	30	374
合計	55	55	55	46	46	47	51	49	52	50	50	50	606

利用者状況推移（各年度3月31日現在）

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成19年度	8	14	22	10	20	30	18	52
平成20年度	7	13	20	13	22	35	20	55
平成21年度	8	11	19	12	19	31	20	50

エ サンライズ山中 定員 20 世帯

稼働率 78.4%

平均在所期間 1.8年(最長4.8年)

年間入所 6世帯(13)名

年間退所 10世帯(25)名 主な退所先 都営住宅、民間アパート

【施設運営状況】

1 今年度も18世帯という暫定定員だったが、年間利用率は78.4%と昨年比で2.9%増だった。

2 各居室への小型湯沸かし器を設置し、生活面で改善を図った。

- 3 第三者評価による職員の研修目標明確化に向けて取り組んだ。専門性を高めるための研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めた。
- 4 バザーや施設の招待行事を通して、地域の方々とのふれあい、交流を図った。

【利用者支援状況】

- 1 入所者にはアルコール依存、精神障害、DV被害、未婚の若い母親等が目立ち、関係機関との連絡をとりながら、個別の支援方法を検討してきた。
- 2 利用者の思いや感情について受容・傾聴に努めた。
- 3 近隣商店街の化粧品店美容スタッフによるフェイシャルエステを実施し、精神的な活性化に効果がみられた。
- 4 就労支援に関して、日曜・祭日の補助保育にも積極的に取りくんできた。
- 5 防災に関しては、通常の避難訓練の他、広域避難場所(片道 50 分)まで、徒歩訓練を実施した。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
居室ガス湯沸かし器設置	800	階段手すり他ペンキ塗装	315
階段手すり他ペンキ塗装	500		
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
防犯カメラ設置	800	コイン洗濯機購入	131
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
パソコン2台	500	パソコン2台	290
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		居室ガス湯沸かし器設置	804
		防犯カメラ設置(寄贈)防災用品他	632
		耐震診断	1089

年間利用状況(各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	18	17	16	16	16	17	15	15	14	14	15	15	188
女性	24	23	20	20	20	21	16	16	15	15	16	17	223
合計	42	40	36	36	36	38	31	31	29	29	31	32	411

利用者状況推移(各年度3月31日現在)

年度	生活保護受給			その他			計	
	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	児童数	合計人員	世帯数	人員
平成19年度	6	6	12	6	8	14	12	26
平成20年度	9	11	20	9	12	21	18	41
平成21年度	7	7	14	8	9	17	15	31

(2) 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援しました。

ア 双葉園 定員 40 名
高嶋の家（地域小規模）定員 6 名 合計 定員 46 名

稼働率 90.6%

平均年齢 10.2 歳(最高 18 歳 最低 2 歳) 男女比率 2 : 3

年間入所 14 名 主な入所理由 (被虐待)

年間退所 8 名 主な退所理由 (家庭引取り、社会的自立)

【施設運営状況】

- 今年度新たに開設した地域小規模児童養護施設（グループホーム）は近隣との関係も良好で特段のトラブル等もなく順調に運営できた。
- 本園の年間の入所率は 87.6% で前年度 94.5% を下回った。原因としては年度当初にグループホームへ異動した 6 名の女兒と年度末で退所した 3 名の児童の補充に手間取ったことが挙げられる。グループホームと合算した入所率は 90.6% だった。
- 第三者評価は児童女性系グループとして昨年と同じ評価機関で受審した。グループホームの開設や心理療法担当職員による専門的なプログラムの充実、職員の増配置等について高評価を受けた。
- 園長、グループホーム長は児童が通う小学校・中学校の学校評議委員を務めるなどして普段から学校との協力関係を大切にしている。また昭島市要保護児童対策地域協議会の委員にも名を連ね地域の要保護児童対策についても地域と連携し対応している。
- 児童女性支援系グループで検討し作成した職員育成計画表を効果的に使い、研修計画を見直した。また個人別育成計画を作成し人事考課とリンクさせて職員育成に取り組んだ。

【利用者支援状況】

- グループホームの開設により子どもたちに家庭的ケアを提供できるようになった。小規模な生活単位で子どもの状態に合わせた個別的ケアを実践し子どもたち自身も落ち着いた生活が送れるようになった。
- 幼児に対し継続的に実施しているアタッチメントプログラムは、職員と子ども間に愛着関係が構築されるなど効果を生んでいる。
- 日誌ソフトを本格的に導入し園内ネットワークにより、子どもの記録や連絡事項などを共有し、効率的な支援が行えるようになった。
- 裁縫ボランティアに毎週火曜日に来園し、衣類の補修等手伝って頂いている。また子どもたちの学習指導やピアノ指導、余暇指導のボランティアもお願いしている。
- 食育の観点からディナー教室、食育体験教室など子どもたちが食に関わる機会を設け、食事への興味や関心を引き出している。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名（購入・工事）	金額	物品名（購入・工事）	金額
第 1 期（4～6 月）		第 1 期（4～6 月）	
パソコン購入	250	パソコン、寝具購入	822
寝具購入	568	非常用備蓄食料品	210

第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
		1階天井漏水工事	378
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
厨房ダクト清掃	200		

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男児	18	17	18	18	18	19	20	21	21	21	21	20	232
女児	19	17	17	17	19	22	25	25	25	25	25	25	261
合計	37	34	35	35	37	41	45	46	46	46	46	45	493

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人数	学年別内訳				
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他
平成19年度	40	11	18	8	3	0
平成20年度	39	10	16	6	7	0
平成21年度	45	10	20	8	7	0

(3) 婦人保護施設

売春防止法に基づく転落防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活指導及び職業指導を行いました。

いこいの家 定員 40名

稼働率 80.9%

(本入所)

平均年齢 47.0歳(最高 73歳 最低 21歳)

平均在所期間 2.5年(最長 13.9年)

年間入所 15名 主な入所理由(居所なし)

年間退所 17名 主な退所理由(アパート転宅)

(緊急)

平均年齢 42.0歳(最高 80歳 最低 21歳)

同伴児者平均年齢 6.0歳(最高 64歳 最低 0歳)

年間利用者数 112名 主な入所理由(DV被害)

【施設運営状況】

1 今年度から定員を50名から40名に変更した。入所者の状況は本入所は知的障害の方の利用が多く、また一時保護は母子また外国籍の方の利用が増え稼働率も上がってきた。

2 女性の人権を守り、障害者施策などいろいろな資源、施策を使いながら、その自立を支援してきた(障害者手帳の取得、障害年金の取得、グループホーム利用など)

3 今年度も第三者評価を受審した。給食の課題が明確に出され、総合調理場という限られた資源のなかで、幅広いニーズにどのように応えていくかが課題であり、次年度はそれに取り組んでいきたい。

4 一時保護を利用した乳幼児・学童に対し、保育士を配置し子どもたちに安全、安心

を提供し、その健全な育成を支援してきた。

5 今年度もチームケアを行い、OJTにつなげた。また異業種の施設交流を行った。

【利用者支援状況】

1 ステップハウスが始まり、延べ3名が利用した。いろいろな課題を持った利用者にとって支援の選択肢が増えたことは大きなことであった。

2 心理士は2名体制で心のケアをしてきた。それぞれ面接の他にコラージュ療法、音楽療法を行った。また栄養士は乳児から高齢者への対応、また外国人利用者の食事などをそれぞれ工夫しながら行った。

3 内作業については作業種を工夫しながら一人ひとりの課題に対応してきた。ステップを踏んで外勤につながる利用者もあり自立への一歩となっていた。

4 高齢の利用者は、一部介護が必要になってきており、高齢施策への転換が必要になってきているが、行政の理解がなかなか得られない部分もあり、今後の課題である。

5 防災については地域自治会との連携をおこなってきた。

6 自立にむけては地域不動産屋の協力が得られアパートが借りやすくなりアパート自立がしやすくなっている。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
サンルーム設置工事	987	カーペット張替工事	168
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
浴室脱衣場改修工事	1439		
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
		玄関電子鍵設置工事	680
		1階窓面格子設置	378
		警備員宿直室改修工事	955
		カーペット張替工事	556

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本入所	31	30	29	27	27	27	27	25	26	28	28	29	334
緊急一時	4	4	5	5	7	9	9	7	6	0	3	5	64
合計	35	34	34	32	34	36	36	32	32	28	31	34	398

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年 齢 別 内 訳							
		~34	~39	~44	~49	~54	~59	~64	65~
平成19年度	27	4	3	3	2	4	8	1	2
平成20年度	33	1	5	4	2	6	11	2	1
平成21年度	34	6	6	5	4	4	6	2	1

5 医療事業施設の経営

医療保護施設・医療施設

地域の中核病院として、適正な医療サービスを行うとともに皆様の健康を守るために公開講座等を開催し健康、保健に係る情報の提供に努めました。

昭島病院 定床 199 床 入院稼働率 85.2%

【経営状況】

- 1 DPC 対象病院(平成 21 年 7 月より)として、入院 1 日平均患者数 170 人(前年度対比:-5 人)、入院診療収益で 37,486 千円増(前年度対比:2.1%アップ)となった。
- 2 外来は、外来 1 日平均患者数 619 人(前年度対比:+16 人)、外来診療収益として、49,640 千円増(前年度対比:5.4%アップ)となった。
- 3 入院の 1 日当り平均単価は、29,750 円となり前年度対比で+1,453 円となった。外来の 1 日当り平均単価は、5,553 円となり前年度対比で+156 円となった。

【診療状況】

- 1 病床利用率は、85.2%となり前年度対比で、-2.7%となった。
- 2 平均在院日数は、18.4 日(前年度対比:-1.2 日)となった。
- 3 救急車受入台数は、1,082 台(90 台/月)となり、前年度対比で+347 台(+29/月)となった。
- 4 手術件数は、400 件(33 件/月)となり、前年度対比で+57 件(+4/月)となった。

【施設整備状況】

(単位:千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物品名(購入・工事)	金額	物品名(購入・工事)	金額
第 1 期(4~6 月)		第 1 期(4~6 月)	
ベッド	3000	大型吸引機、ベッドサイドモニター	893
		ホルター心電図解析システム	3131
		外科手術用バイポーラシーガス	207
第 2 期(7~9 月)		第 2 期(7~9 月)	
		関節鏡手術ハサミ	1260
		X 線診断装置用立位昇降撮影台	400
		腹・胸腔鏡下手術用鑑鉗子一式	552
		輸液ポンプ	112
第 3 期(10~12 月)		第 3 期(10~12 月)	
		整備用器械	669
		ネプライザー	1680
第 4 期(1~3 月)		第 4 期(1~3 月)	

患者数実数

年度	1日あたり平均患者数	
	外 来	入 院
平成 19 年度	598	180
平成 20 年度	603	175
平成 21 年度	619	170

減免内訳

		区 分	件 数	金 額
入 院	実 人 員	生活保護	126	
		健保・国保	18	
		無	0	
		計	144	
	延 人 員	生活保護	3,068	907,110
		健保・国保	322	1,371,745
		無	0	0
		計	3,390	2,278,855
外 来	延 人 員	生活保護	0	0
		健保・国保	0	0
		無	1	25,370
		計	1	25,370
		その他		427,927
		合計	3,391	2,732,152

昭島病院訪問看護ステーション

1日平均利用者数 11.6名 男女比率 3.5:6.5
 平均年齢 82.4歳（最高105歳 最低21歳）
 介護保険延人数 68名 医療保険延人数 23名 計91名

【施設運営状況】

- 1 3年目になり、安定した利用者と訪問回数が確保でき、実績として月平均254回となった。
- 2 介護支援職員からの依頼も多くなり、関係者の知名度も高くなっている。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の症状別は、前年同様、癌、末期癌、糖尿病、心不全、脳梗塞後遺症が多く、支援診療所と連携し看取りの実績もあった。
- 2 24時間連絡体制のサポートを実施した。
- 3 今年度の目標であった家族会を開催し、非常に好評であり、今後も継続し利用者・介護者を支援していく。

【施設整備状況】

特になし

利用状況（月刊延訪問者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	17	17	19	18	16	17	17	18	17	21	22	19	218
女性	45	41	37	39	38	41	43	42	45	44	44	44	503
合計	62	58	56	57	54	58	60	60	62	65	66	63	721

6 収益事業の経営

定款に定める本会事業の円滑な運営を期するため、次の収益事業を行いました。

1 オフセット・活版印刷事業

事業局

職員数 14 名により主に官公庁を顧客として、デザイン、レイアウト・印刷・製本の印刷全般はもとより、発送代行等の諸事業を行い、300 万円の本部経理区分への繰り入れを行いました。

2 駐車場その他不動産に関する事業経営

下記の事業を行い、680 万円本部経理区分への繰り入れを行いました。

①富士見町駐車場

旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営を行いました。

②原町ホーム土地賃貸業

原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与しました。

③むさしの保育園建物賃貸業

むさしの保育園内倉庫を東京都共同募金会倉庫として有償貸与しました。

④昭島病院駐車場

昭島病院の東側敷地を活用し、時間貸しの駐車場として経営を行いました。

三 職員福利厚生制度

本年度の職員福利厚生事業は下記のように実施しました。

- 1 永年勤続者表彰
10年勤続者 23名 20年勤続者 12名 30年勤続者 3名

定年退職者表彰（定年退職前勤続10年以上の職員対象）
17名
- 2 人間ドック健診助成の実施
40歳、50歳 受診 14名 60歳 受診 5名

婦人科検診助成の実施（35歳以上の女性職員対象）
乳がん検診 受診 277名 子宮がん検診 受診 220名
- 3 福利厚生センター事業の利用
ソウエルクラブ 年間加入 756名
- 4 職員メンタルヘルスケアへの取り組み
EPA（従業員支援プログラム） 21年7月～
職員らなびに家族（同居）、退職者・復帰者への支援カウンセリングの実施

相談件数 15件
- 5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260
定員 10名 保育時間 7時～21時
0歳（生後2カ月）から小学校就学前までの職員の児童を預かり保育

月極保育利用 年間延べ60名
一時保育利用 年間延べ67名

四 理事会及び評議員会

定款の定めにより、下記の理事会、評議員会を開催しました。

1 理事会

- ア 第1回 平成21年5月26日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、
田中紀久子、殿塚典彦、 9名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長
議 事：平成20年度事業報告、平成20年度決算報告、各施設の管理・運営規程改正、
夢オハナ共同生活介護及び共同生活援助事業運営規程制定、組織規程一部改
正、施設長人事、平成20年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、
障害者グループホームの増設、豊島区立福祉ホームさくらんぼ・目白生活実
習所・目白福祉作業所指定管理者の応募結果、
- イ 第2回 平成21年10月21日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、
田中紀久子、殿塚典彦、(書面出席者：品川卓正) 9名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長
議 事：基本財産処分(サンライズ世田谷建物・跡地)、平成21年度第1次補正予算、
定款一部変更、介護職員処遇改善交付金に係わる支給、新卒採用応募状況、
- ウ 第3回 平成21年11月24日 於：原町ホーム会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、田中紀久子、殿塚典彦、
(書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正) 9名
監事：五十嵐力平 1名
欠席者監事：鈴木道生
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長、
議 事：特別養護老人ホーム(ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑)
介護従事者業務省力化設備整備事業(物品買入等)に係る契約方法等
- エ 第4回 平成21年12月17日 於：原町ホーム会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、田中紀久子、殿塚典彦、
(書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正) 9名
監事：五十嵐力平 1名
欠席者監事：鈴木道生
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長

議 事：特別養護老人ホーム（ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑）
介護従事者業務省力化設備整備事業（物品買入等）に係る指名業者選定等

オ 第5回 平成22年1月8日 於：原町ホーム会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、田中紀久子、殿塚典彦

（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正）9名

監事：五十嵐力平 1名

欠席監事：鈴木道生

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長

長沼昭島病院事務長

議 事：特別養護老人ホーム（ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑）
介護従事者業務省力化設備整備事業（物品買入等）の契約等

カ 第6回 平成22年2月17日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、
田中紀久子、殿塚典彦 9名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長

長沼昭島病院事務長

議 事：平成21年度第2次補正予算、定款一部変更、給食業務委託契約（昭和郷内
施設、原町ホーム、ゆたか苑、昭和郷保育園、つつじが丘保育園、みなと保
育園）、昭島病院医事会計システムの更新に伴う契約、東村山生活実習所運
営規程制定（生活介護事業、就労継続支援B型事業、短期入所事業）、施設
長人事、平成21年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、昭島市
地域包括支援センター受託、新卒者等採用状況

キ 第7回 平成22年3月24日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室

出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、橋本泰子、原山陽一、志茂威、品川卓正、
田中紀久子、殿塚典彦 9名

監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名

その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長

長沼昭島病院事務長

議 事：平成22年度事業計画、平成22年度予算、業務管理体制整備規程制定、運営
規程一部改正（新宿区榎町高齢者総合相談センター）、昭島市地域包括支援
センター運営規程制定、経理規程一部改正、事業局経理規程制定、就業規則
一部改正、給与規程一部改正、臨時職員就業規則一部改正、育児・介護休業
等に関する規則一部改正、昭島病院就業規則一部改正、昭島病院給与規程一
部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、昭島病院育児・介護休業等
に関する規則一部改正、事業局就業規則一部改正、事業局臨時職員就業規則一
部改正、事業局育児・介護休業等に関する規則一部改正、サンライズ世田谷
解体工事の入札及び契約、平成21年度東京都指導検査による指摘事項及び
改善報告、サンライズ世田谷の土地売却

※ 理事及び監事一覧（任期：平成22年5月29日まで）

理事長	牧野 洋一	常務理事	菅原眞廣	理事	多久島耕治
理事	橋本 泰子	理事	原山 陽一	理事	志茂 威
理事	品川 卓正	理事	田中紀久子	理事	殿塚 典彦
監事	鈴木 道生	監事	五十嵐力平		

2 評議員会

- ア 第1回 平成21年5月26日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、榎島房子、高橋恭一、本山美八郎、川向良和、飯山幸雄、岡橋生幸、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、相原幸仁、南山徳英、水谷貞子、牧野洋一、菅原眞廣 17名
監事：鈴木道生、五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長
欠席者：小林順吾、堀茂 2名
議 事：平成20年度事業報告、平成20年度決算報告、平成20年度第12回理事会議決事項、平成20年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、障害者グループホームの増設
- イ 第2回 平成21年10月21日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：古屋正義、小山寿、小林順吾、榎島房子、高橋恭一、本山美八郎、川向良和、飯山幸雄、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、相原幸仁、南山徳英、牧野洋一、菅原眞廣 17名
監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
欠席者：坂井利夫、水谷貞子
議 事：基本財産処分（サンライズ世田谷建物・跡地）、平成21年度第1次補正予算定款一部変更、平成21年度第1回理事会議決事項、介護職員処遇改善交付金等に係わる支給、新卒採用応募状況
- ウ 第3回 平成22年2月17日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：古屋正義、小山寿、高橋恭一、本山美八郎、川向良和、飯山幸雄、岡橋生幸、戸塚洋子、木村美子、六本木尚、相原幸仁、南山徳英、水谷貞子、牧野洋一、菅原眞廣 15名
監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
欠席者：坂井利夫、小林順吾、榎島房子、堀茂 4名
議 事：平成21年度第2次補正予算、定款一部変更、平成21年度第3回～第5回理事会議決事項、平成21年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、

東村山生活実習所改築工事の完了、昭島市地域包括支援センター受託、新卒者等採用状況

- エ 第4回 平成22年3月24日 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
出席者：古屋正義、小山寿、高橋恭一、本山美八郎、川向良和、飯山幸雄、岡橋生幸、木村美子、六本木尚、相原幸仁、南山徳英、水谷貞子、牧野洋一、菅原眞廣
14名
監事：鈴木道生 五十嵐力平 2名
その他：山川企画部長、佐々木総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
欠席者：坂井利夫、小林順吾、榎島房子、堀茂、戸塚洋子 5名
議 事：平成22年度事業計画、平成22年度予算、平成21年度第6回理事会議決事項、平成21年度東京都指導検査による指摘事項及び改善報告、サンライズ世田谷の土地売却

※ 評議員一覧（任期：平成22年5月29日まで）

坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	榎島 房子	高橋 恭一
本山美八郎	川向 良和	飯山 幸雄	堀 茂	岡橋 生幸
小林 順吾	戸塚 洋子	木村 美子	六本木 尚	相原 幸仁
南山 徳英	水谷 貞子	牧野 洋一	菅原 眞廣	

五 施設長会及び各種委員会

1 施設長会議

原則として、毎月第一水曜日（7月までは第三水曜日）に、事務局からの報告、連絡及び提案等の協議を行うための施設長会を開催しました。

- ア 4月 平成21年4月22日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議会・理事会（21.3.25）決定事項の報告
新施設長紹介、各種委員会・施設長会議の運営について
20年度施設利用実績集計報告、20年度3月分昭島病院実績報告
婦人科健診について、アスクルでの消耗品の購入について
利用者預り金の報告について、各種委員会・各グループ報告
- イ 5月 平成21年5月27日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議会・理事会（21.5.26）決定事項の報告
20年度決算報告、21年度4月分昭島病院実績報告
コンプライアンス研修について、メンタルヘルス関係契約について
夏季賞与の支給について、さくらんぼの指定管理結果について
各種委員会・各グループ報告
- ウ 6月 平成21年6月24日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
4・5月分次実績報告、施設長会議開催日程の変更のお知らせ
7/1付職員の異動について、メンタルヘルスカードの配布について
内部検査について、各種委員会・各グループ報告
- エ 7月 平成21年7月22日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
6月分月次実績報告、サンライズ世田谷の跡地について
サンライズ武蔵野・むさしの保育園改築設計業者について
永年勤続者表彰式について、各種委員会・各グループ報告
- オ 9月 平成21年9月2日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
7月分月次実績報告
平成21年度第1次補正予算書の提出及び作成上の留意点について
契約職員採用事前協議書について、各種委員会・各グループ報告
- カ 10月 平成21年10月7日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
8月分月次実績報告、月次実績報告書の書式の変更について
新卒採用応募状況報告、各種委員会・各グループ報告
昭和郷フェスティバルについて
- キ 11月 平成21年11月4日（水） 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議会・理事会（21.10.21）決定事項の報告
9月分月次実績報告、22年度人事異動について、冬季賞与の支給について

管理職試験の実施について、新卒採用応募状況について
各種委員会・各グループ報告

- ク 12月 平成21年12月2日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
10月分月次実績報告、平成21年度2次補正について、
新型インフルエンザ予防接種状況確認
新規採用説明会・採用試験状況報告
年末年始における施設運営管理について、各種委員会・各グループ報告
- ケ 1月 平成22年1月6日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
理事長念頭挨拶等
11月分月次実績報告、平成22年度事業計画・当初予算の提出について
管理職試験結果報告、各種委員会・各グループ報告
- コ 2月 平成22年2月3日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
12月分月次実績報告
昭和郷保育園病後児保育事業の実施について
昭島市地域包括支援センターの受託について、各種委員会・各グループ報告
- サ 3月 平成22年3月3日(水) 於：原町高齢者在宅サービスセンター2階会議室
評議会・理事会(22.2.17)決定事項の報告
1月分月次実績報告、補正予算の考え方について
施設長の異動について、辞令交付の日程について、2級ヘルパー養成研修の
受講生募集について、東村山生活実習所の竣工式について
各種委員会・各グループ報告

2 各種委員会

平成 21 年度事業計画の定めにより、下記の委員会を設け業務を遂行しました。

(1) 総合企画委員会

委員：○山川 浩一 佐々木末廣 金田 幸雄
木村 美子 南山 徳英 相原 幸仁 田中紀久子
山下 弘子 田口 道子 神田 祐一 水谷 貞子
小林 一江 長沼 君夫

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。総合企画会委員会については法人の重要事項について議論し、理事長へ意見を進達する機関としました。また他の委員会の所掌事務について必要な進行管理等を行いました。

- ア 第 1 回 平成 21 年 4 月 22 日 於：原町ホーム
- ・ 各種委員会、施設長会の運営について
 - ・ 20 年度施設利用実績について ・ 3 月分昭島病院実績について
 - ・ 障害者グループホーム新設について
 - ・ ステップハウスについて ・ 予算管理等について ・ 定額給付金について
 - ・ 月次実績報告（新様式）について
- イ 第 2 回 平成 21 年 5 月 27 日 於：原町ホーム
- ・ 4 月分昭島病院実績について
 - ・ コンプライアンス研修について ・ メンタルヘルスケアの取組みについて
 - ・ 経営改革、中長期計画について ・ 各委員会年間予定について
- ウ 第 3 回 平成 21 年 6 月 24 日 於：原町ホーム
- ・ 5 月分事業実績について
 - ・ 異動内示について ・ 後援会総会の開催について
 - ・ 新型インフルエンザ対応マニュアル 2009 年度版の作成について
- エ 第 4 回 平成 21 年 7 月 22 日 於：原町ホーム
- ・ 6 月分事業実績について
 - ・ 永年勤続表彰について
 - ・ サンライズ武蔵野、むさしの保育園改築の設計業者について
 - ・ サンライズ世田谷跡地利用について
- オ 第 5 回 平成 21 年 9 月 2 日 於：原町ホーム
- ・ 7 月分事業実績について
 - ・ 21 年度第一次補正予算について
 - ・ 介護、障害交付金について
 - ・ 新型インフルエンザ状況、対応マニュアル 2009 年度版について
- カ 第 6 回 平成 21 年 10 月 7 日 於：原町ホーム
- ・ 8 月分事業実績について
 - ・ 21 年度 10 月理事会議案について ・ 新卒採用応募状況について

- キ 第7回 平成21年11月4日 於：原町ホーム
 - ・ 9月分事業実績について
 - ・ 職員採用状況について ・ 人事異動、正職員採用について
- ク 第8回 平成21年12月2日 於：原町ホーム
 - ・ 10月分事業実績について
 - ・ インターネットバンキングにおける振込の承認について
 - ・ 職員採用状況について ・ 管理職試験応募状況について
 - ・ 東村山駐車場の活用提案募集について
- ケ 第9回 平成22年2月3日 於：原町ホーム
 - ・ 12月分事業実績について
 - ・ 21年度2月理事会議案について ・ 現金管理の徹底について
 - ・ 昭和郷保育園病後児保育事業の実施について
 - ・ 昭島市地域包括支援センターの受託について
- コ 第10回 平成22年3月4日 於：原町ホーム
 - ・ 1月分事業実績について
 - ・ 21年度3月理事会議案について
 - ・ 22年度規程改正案について ・ 施設長の異動について
 - ・ 22年度経営支援実態調査結果について

(2) 人事委員会

委員：○菅原 眞廣 山川 浩一 佐々木末廣 金田 幸雄
 相原 幸仁 田中紀久子

職員に関する懸案等について検討しました。

(3) 規程整備委員会

委員：○佐々木末廣 山川 浩一 豊野 秀一 石川 宣子 原田 浩二
 相原 幸仁 田中紀久子 木村 美子 上林 唱子 南山 徳英

- ア 第1回 平成21年4月
 - ・ 平成21年度規程整備委員会の活動計画について
 - ・ 平成20年度人事考課の総括と21年度考課の課題について
- イ 第2回 平成21年6月
 - ・ 法令に基づく職種と規程における職名のあり方について
- ウ 第3回 平成21年7月
 - ・ 労働基準法改正に基づく規程の改正について
 - ・ コンプライアンス規程について
- エ 第4回 平成21年8月
 - ・ 処遇改善交付金(介護)・助成金(障害福祉サービス)について
 - ・ 介護サービス事業者の業務管理体制整備に係る届出について
 - ・ 契約職員採用手続について

- オ 第5回 平成21年9月
- ・ 処遇改善交付金(介護)・助成金(障害福祉サービス)について
 - ・ 改正育児・介護休業法の概要と規程改正について
- カ 第6回 平成21年11月
- ・ 処遇改善交付金(介護)・助成金(障害福祉サービス)の今後について
 - ・ 規程改正の必要項目の検討について
 - ・ 規程整備のスケジュールについて
- キ 第7回 平成22年1月
- ・ 22年度処遇改善交付金(介護)・助成金(障害福祉サービス)について
 - ・ 規程改正について
- ク 第8回 平成22年2月
- ・ 規程改正について

(4) 職員研修委員会

委員：○田口 道子 佐々木末廣 東 俊郎 相澤 靖
 鎌田 弘道 宮本 浩史 折居千恵子 岡本 勝巳
 阿部 英子 山中 誠一 大浦 順子

(1) 委員会開催状況

- ア 第1回 平成21年4月28日 於 いこいの家
- ① 基礎研修について ② 平成21年度の研修計画について
- イ 第2回 平成21年5月28日 於 原町在宅介護支援センター
- ① 基礎研修の反省について ② 中級研修について
- ウ 第3回 平成21年6月16日 於 原町在宅介護支援センター
- ① 中級研修について ② コンプライアンス研修について
- エ 第4回 平成21年7月30日 於 原町在宅介護支援センター
- ① コンプライアンス研修の反省について ② メンタルヘルス研修の反省
 - ③ 上級研修について
- オ 第5回 平成21年8月26日 於 原町在宅介護支援センター
- ① メンタルヘルス研修について ② 上級研修について
 - ③ 課題別研修(文の書き方、起案の仕方等)
- カ 第6回 平成21年9月10日 於 原町在宅介護支援センター
- ① 上級研修について
 - ② 課題別研修(文書の書き方、起案の仕方等の内容検討)
- キ 第7回 平成21年10月23日 於 原町在宅介護支援センター
- ① 上級研修についての反省 ② 課題別研修の反省
 - ③ アンケートについて
- ク 第8回 平成21年11月19日 於 原町在宅会議支援センター
- ① 上級研修について ② 新任職員フォローアップ研修について
 - ③ 来年度研修のアンケートについて
- ケ 第9回 平成21年12月18日 於 原町在宅介護支援センター
- ① リスクマネジメントについて ② 来年度事業計画について

- ③ アンケートの分析他
- コ 第10回 平成22年1月21日 於 原町在宅介護支援センター
 ① リスクマネジメントの反省について ② 来年度事業計画について
- サ 第11回 平成22年2月22日 於 原町在宅介護支援センター
 ① リスクマネジメント研修の反省 ② 新任研修について
 ③ リスクマネジメントマニュアルの確認について
- シ 第12回 平成22年3月18日 於 いこいの家
 ① 新任研修反省 ② リスクマネジメントマニュアル確認について

(2) 研修実施状況

実施日	研 修 名	目 的
5月 15日	基礎研修（経験年数1～3年） H21.5.15(金) 9:00～17:30 「組織人としての存在価値を高める」 ・ 組織活動の基本 ・ 組織活動におけるチームワーク ・ 組織活動におけるコミュニケーション ・ 組織活動における業務改善 ・ グループ討議・発表 講師 (株)エイデル研究所 村松博氏	・ 講義、演習等を通して、組織メンバーの一員として活動していくために必要なコミュニケーション、チームワークの意義と重要性を認識する。 ・ 職場の業務改善の創意工夫、企画提案等創造的開発技法を身につける。
6月 12日	中級研修（経験年数5年程度） H21.6.12(金) 9:00～17:30 「自己理解と期待役割の明確化」 ・ 優秀な人材の特徴、対人関係能力 ・ 自分で自分を考える、自己診断・発表 ・ 期待役割の明確化、自己取組課題の明確化 ・ 実習・グループ討議・発表 講師 (株)ビジネスコンサルタント 久保江 康氏	・ 優秀な人材の特徴（能力×意欲×考え方）を理解する。 ・ 自己理解を深め、対人関係能力の向上への啓発ポイントを見出す。 ・ 自己に期待される役割を理解し、今後の取組み課題を明確にする。
6月 25日	課題別研修 コンプライアンス研修（管理職） 「ケースメソッドを活用し、コンプライアンスに関する問題の分析と解決策について考える」 ・ 業務運営におけるグレーゾーン領域のテーマの認識、判断。バランス感覚の点検。 ・ コンプライアンスに関連、派生する現場のリスクを明確にし、防止策を検討。 ・ グループ討議・発表	・ コンプライアンス(経営倫理)が必要とされる背景・考え方、実践のポイント ・ 業務運営におけるグレーゾーン領域のテーマの認識、判断。バランス感覚の点検 ・ コンプライアンスに関連、派生する現場のリスクを明確にし、防止策を検討
7月 14日	H21.6.25(木) 9:00～17:00(管理職) H21.7.14(火) 9:00～17:00(中間管理職) 講師 (株)ビジネスコンサルタント 岡部 寿也氏	

<p>7月 22日</p> <p>9月 10日</p>	<p>課題別研修 メンタルヘルス研修 (管理職) 「管理者に求められるメンタルヘルス予防、 早期発見とポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例をもとに具体的に検討。 ・ コミュニケーションと傾聴スキル。 ・ ストレスからの病気の基礎知識を知る ・ グループ討議 <p>H21.7.22 (木) 14:00~16:00 (管理職) 講師 ヒューマンフロンティア(株) 渡邊 幸伸氏</p> <p>H21.9.10 (木) 15:00~17:00 (中間管理職) 講師 ヒューマンフロンティア(株) 土門 京子氏</p>	<p>～こころの問題を如何に指導・支援していくか～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心の健康を守るのは、個人だけでなく、組織としても問われる時代。適切なメンタルヘルスカケアを形成するよう管理層に浸透。
<p>9月 19日</p> <p>10月 29日</p>	<p>上級研修(経験年数 10 年程度) 「上級職員に求められる職場開発スキル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場を取り巻くビジネス変化に対して職場の方向付け ・ 職場が効果的に機能するあり方を知る。 ・ 職場の変革テーマを考え、職場規範を変えるスキルを身につける。 ・ 実習・グループ討議・発表 <p>講師 (株)ビジネスコンサルタント 久保江 康氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場を取り巻くビジネス変化に対して職場の方向付け・職場が効果的に機能するあり方を知る。 ・ 職場の変革テーマを考え、職場規範を変えるスキルを身につける。
<p>10月 15日</p>	<p>課題別研修 経理・庶務担当研修 (契約及び事務に関わる施設事務職員、参加を希望する管理職) H21.10.15 (金) 14:00~17:30 「文書管理の基礎を学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の意味、事務手続き ・ 意思決定の流れ <p>講師 法人事務局職員 佐々木末廣・小林一江・品川克美</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約についての基本(意味、手続きなど)及び各種文書の書き方の基本を学ぶ。 ・ 内部意思決定の流れを学ぶ。
<p>11月 10日</p>	<p>新任フォローアップ研修 (平成 21 年度新規採用正規職員) H21.11.10 (火) 9:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「半年間の職場生活の振り返り、今後の目標を設定する。」・「傾聴力実習」効果的な聴き方を体験的に学習・「コンセンサス実習」コミュニケーション方法の学習・「次のステップへ向けた目標の設定」 ・ 実習・グループ討議・発表 <p>講師 (株)ビジネスコンサルタント 渡辺考二郎氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変革の時代のビジネスパーソンに求められること ・ 半年間の職場生活の振り返りを行う。 ・ 職場で求められるコミュニケーションスキルの習得 ・ 次のステップへ向けた目標の設定

12月	<p>課題別研修 人事考課研修 考課者を対象にグループ別に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度実施4年目の適切な運用を目指し、人事考課者への研修を行う。 <p>講師 佐々木総務部長</p>	<p>課題別研修 人事考課実践のフォローアップ</p>
H22年 1月 15日	<p>新規採用内定者研修会 H22.1.15(金)9:00~13:00</p> <p>「同援の福祉サービスの現状や課題・目標を理解する」</p> <p>講師 佐々木総務部長 立川福祉作業所 副所長 山中 誠一 ゆたか苑 介護員 山脇 啓子 つつじヶ丘保育園 保育士 大空 加代</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同援職員として「真の福祉の実現」には、同援の基本的な仕組みや実績の正確な理解が必要になることを確認する。 ・今後のスケジュール説明や給与規程・就業規則等の説明 ・会食をし親睦を深める
H22年 1月 19日	<p>課題別研修 コンプライアンス研修Ⅱ(管理職) H22.1.19(火)9:00~17:00</p> <p>「ハラスメント防止の重要性」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントが起きる背景、被害について。 ・セクハラ・パワーハラスメント防止体制、相談時の対応や自己点検 ・実習・グループ討議・発表 <p>講師 (株)ビジネスコンサルタント 伊藤 弘子氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントにおける基礎知識を正しく認識し、お互いが信頼関係で結ばれるような人間関係の構築を目指す。
2月 12日	<p>課題別研修 リスクマネジメント研修Ⅱ H22.2.12(金)14:00~17:30</p> <p>「リスクマネジメント基本事例に学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例に基づく、ケースメソッド ・適切なコメントにより事故防止、適切な対応を目指す。 <p>講師 (株)あいおいリスクコンサルティング 山田 滋氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安心安全を目指した啓発、事故防止、適切な対応を目指す。 ・職員の資質の更なるレベルアップ
3月 5日	<p>課題別研修 「コンプライアンスに基づく出納職員の責務」 H22.3.5(金)14:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出納職員とコンプライアンス ・規程・規則に基づく出納職員の責務 <p>正確・適正な業務処理、内部牽制制度</p> <p>講師 山川企画部長・佐々木総務部長 小林企画課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正確・適正な業務処理 ・内部牽制制度
3月 11.12日	<p>新任研修(新任採用者及び準ずる者) H21.3.11(木)~12(金)9:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸規程他(各部長) ・接遇マナーの基本(講師)・施設見学 	<p>新任研修(新任採用者及び準ずる者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織人としての接遇マナーの基本を習得する。 ・職場研修の基本動作・コミュニケ

	新任職員に必要なエンジンを搭載する！ ・ 4 テクニカル Engine ・ 5 マインドセット Engine 講師 3/11 (株)モット 島田正代氏 3/12 (株)ビジネスコンサルタント 渡辺 考二郎氏	ーションの基本を学び、チームで問題解決する Engine を学ぶ。
--	--	-----------------------------------

グループ別研修実施状況

1 高齢者支援系

実施月	研 修 名	目 的
7月 23日	新任職員研修 「現場の視点からの介護の実務と理論」 講師 ひかり苑 副園長 守山文雄氏 参加者 20名	利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と理論を学ぶ
11月 16日	講演「ブネ法その介護としての可能性」 講師 ステン・ブネ氏 スウェーデン フェリスクヴァル市文化長 参加者 115名	スウェーデン方式の音楽療法ブネ法を学び、新しい介護手法を生かした新次元の福祉サービスを確立する。
10月 18日	施設見学会「施設見学会」 文京区 くすの木の家、白山の家 参加者 12名	介護職員の処遇向上のため他法人の施設を見学する。
22年 2月 19日	新任職員フォローアップ研修 講師 ひかり苑 副園長 守山文雄氏 参加者 20名	半年間の振り返りを行い、今後の目標等定める。

2 障害者支援系

実施月	研 修 名	目 的
6月 27日	障害者支援について「学びから気づき」 講師 企画部長 山川 浩一氏 立川福祉作業所 施設長 田中 紀久子氏 参加者 20名	職員としてのスキルアップを目指し、自立支援法の制度、接遇マナーの向上、障害グループの歴史、今後の法人としての方向性等について学び、これからの自己研磨に繋げる。
7月4日 9月 15日 12月 19日	基本的ビジネスマナーを身につける 講 師 (株)モット 島田 正代氏 参加者 延べ49名	障害者グループの若年層の職員の人材育成を行い、安定した人材確保と支援の向上を図る。
22年 1月 18日	講演会 「堀の中に見る現実と我が国の福祉」 講師 山本 譲司氏 作家・元衆議院議員 参加者 97名	障害者支援系グループの職員の人材育成を行い、安定した人材確保と支援の向上を目指す。

3 保育支援系

実施月	研 修 名	目 的
4月 25日	保育園におけるリスクマネジメント 講師 (株) アイギス 代表取締役 脇 貴志氏 参加者 98名	保育園での危機管理について学ぶ。
11月 14日	講演「子育てがおもしろくなる話 子どものまなざし」 講師 教育専門員 土佐 いく子氏 大阪大学・和歌山大学非常勤講師 参加者 105名	保育士がもう一度保育園の役割を認識し、保護者、子ども達と共に育ち合える保育に取り組んでいけばよいのかを学ぶ。
12月 8日	平成21年度人事考課研修 講師 総務部長 佐々木 末廣 参加者 16名[園長・副園長・主任]	人事考課を同じ認識で行うよう考課の基準や公平性を学ぶ。
22年 1月 23日	講演「子どもの成長と保育士のかかわり」 講師 山梨大学教授 加藤 繁美氏 参加者 114名	日々の保育実践の中で子どもの見方がさらに深まり今後の保育にいかせるように学ぶ。

4 児童・女性支援系

実施月	研 修 名	目 的
11月 20日 12月 14日 2月 20日	生きずらさを抱える利用者への支援を学ぶ 「発達障害のある子への支援について」 講師 精神科クリニック こどもの園 菊地 春樹氏 「パーソナリティが未熟な人々と どのようにかかわるか」 講師 防衛医大精神科医 佐野 シンヤ氏	支援の難しい課題を持った利用者が増加している。発達障害、PTSD、依存症等の理解と対応。
11月～ 2月	・グループ内施設交流研修(3日間) ・グループ外施設(障害者支援系)交流研修	他業種、他施設での研修を通して連携を必要とされている三業種の理解を深めると共に、職員の視野を広げ資質向上を図る。

(5) 広報委員会

委員 ○佐々木末廣 山下弘子 小島芳夫 原田直美 清水恵子
高橋百合子 池田清彦 長谷部 工藤かおる

- 第1回 平成21年4月16日(木)
於：原町高齢者在宅サービスセンター2階
1 施設要覧について
2 同援だより盛夏号について
- 第2回 平成21年5月28日(木)
於：原町高齢者在宅サービスセンター2階
1 施設要覧について
2 平成21年度広報委員会年次計画について
3 同援だより盛夏号について
- 第3回 平成21年9月9日(水)
於：原町高齢者在宅サービスセンター2階
1 同援だより秋号について
2 同援通信 No.7について
- 第4回 平成21年12月9日(水)
於：原町高齢者在宅サービスセンター2階
1 同援だより新春号の内容について
- 第5回 平成22年2月2日(火)
於：原町高齢者在宅サービスセンター2階
1 同援通信について
2 同援だより新春号反省
3 同援だより盛夏号について
- 第6回 平成22年3月30日(火)
於：原町高齢者在宅サービスセンター2階
1 同援通信について

(6) 業務マニュアル委員会

委員：○神田 祐一 金田 幸雄 池田 康子 長者 政孝 石井 好子
小堀 和子 荒井 隆夫

今年度は、施設運営上の安全、衛生および危機管理等に関する手順書の作成に向けて検討しました。

- 第1回 平成21年6月3日 於：原町ホーム
新型インフルエンザマニュアルについて
- 第2回 平成21年6月16日 於：さくらんぼ
新型インフルエンザマニュアル作成について

- 第3回 平成21年7月2日 於：双葉園
新型インフルエンザマニュアル発行について
- 第4回 平成21年11月17日 於：原町ホーム
リスクマネジメントマニュアルについて
- 第5回 平成21年12月11日 於：原町ホーム
災害時対応マニュアルについて

(7) 個人情報保護制度検討委員会

委員：○金田 幸雄 栗原 茂雄 石川 宣子 飯島 一憲
池田 清彦 林 美子 田代 秀之

法人の個人情報保護規程に基づき委員会では、法人の保有する個人情報の保護に関する運営等の検討を行いました。

- 第1回 平成21年7月3日 於：原町ホーム
個人情報の開示について
- 第2回 平成21年7月17日 於：サンライズ武蔵野
業種毎の、個人情報保護について、開示可能な内容について
- 第3回 平成21年11月6日 於：原町ホーム
苦情報告書・事故報告書について

(8) 人事考課評価委員会

委員：○菅原 眞廣 佐々木末廣 南山 徳英 相原 幸仁 田中紀久子
木村 美子

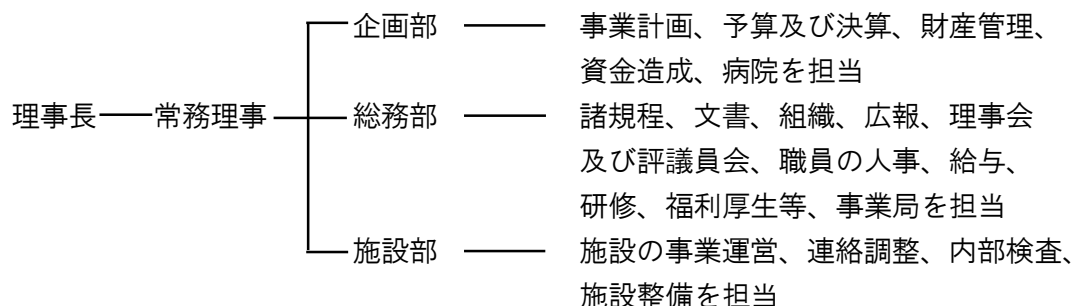
職員人事考課規程第9条に基づく職員からの異議がなかったため、開催しておりません。

※ ○印は委員長

六 事務局主要事業

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図るため、企画部・総務部・施設部の三部制により業務を行いました。

1 組織



2 事業計画・予算等の総括

平成 20 年度事業報告、決算等の原案、平成 21 年度事業計画、予算及び補正予算の原案等を取りまとめ、評議員会及び理事会に提案し、承認を得ました。

3 指導検査・法人内部検査

ア 東京都による指導検査

東京都による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われました。

特別養護老人ホームにおいて、個別機能訓練加算等の誤算定による保険料等の返還、建物設備等の管理及び身体拘束等廃止に向けての取り組みについて、また児童養護施設及び婦人保護施設においては、固定資産物品の廃棄の処理についての指導がなされ、速やかに改善しました。

大山保育園	6月1日	みなと保育園	6月2日
同援みどり保育園	6月9日	ニューフジホーム	9月28日
フジホーム	9月29日	原町ホーム	9月30日
サンホーム	10月1日	ライトホーム	10月2日
双葉園	11月26日	いこいの家	10月27日

イ 法人内部検査

経理規程及び内部検査実施要綱に基づき、事務局職員及び任命検査員による内部検査を下記のとおり実施しました。検査員からの指摘事項は速やかに改善しました。

大山保育園	5月21日	みなと保育園	5月22日
同援みどり保育園	5月28日	サンライズ山中	6月23日
双葉園	6月30日	サンライズ青山	7月2日
むさしの保育園	7月16日	ゆたか苑	7月21日

小茂根福祉園	7月29日	昭島荘	8月25日
ひかり苑	8月27日	昭和郷保育園	9月1日
サンライズ万世	9月3日	サンライズ武蔵野	9月8日
昭和郷第二保育園	9月15日	ニューフジホーム	9月16日
原町ホーム	9月17日	フジホーム・フジデイ	9月18日
サンホーム	9月24日	かえで・ライトホーム	9月25日
つつじが丘保育園	9月30日	同援さくら保育園	10月20日
さやま園	10月29日	いこいの家	11月2日
さいわい福祉センター	11月5日	東村山生活実習所	11月12日
立川福祉作業所	11月19日	さくらんぼ	12月1日
昭島病院	12月3日	万世敬老園	12月8日
事業局	12月10日		

ウ 監事監査

監事による監査は、法人事務局並びに昭島病院・事業局について月1回定期的に監査が行われ、施設についても下記のとおり実施されました。

指摘を受ける事項は認められませんでした。助言等を運営改善に活かしました。

利用者預り金関係 7月 8日・8月 4日

双葉園	万世敬老園	フジホーム
ニューフジホーム	原町ホーム	ゆたか苑
ひかり苑	昭島荘	いこいの家
さやま園	さくらんぼ	アミニティ富士見他

施設運営関係

双葉園	6月30日	ゆたか苑	7月21日
ひかり苑	8月27日	さやま園	10月29日
立川福祉作業所	11月19日	さくらんぼ	12月1日

